

## 今出川通におけるLRT交通社会実験

# 資料編

- 1 新聞記事
- 2 アンケート調査結果
- 3 交通量調査結果

## 参考資料 1 LRT交通社会実験関連新聞記事

新型路面電車

# バスで実証実験

## 京都市が1月、専用車線で

新型路面電車(LRT)網の整備を検討している京都市は七日、バス車両をLRTに見立てて市内を走らせる実証実験を来年一月二十四日に実施すると発表した。

十分間隔で運行させる。周辺道路の交通量の変化や渋滞状況などを調査し、LRTを建設した場合の効果や影響を評価する。

実験区間は京福電気鉄道(以下「京福線」)の北野白梅町一丁目から川間(一・一丁目)は複線区間とし、車道の幅が狭い残りの三・〇丁目間は単線区間とする。

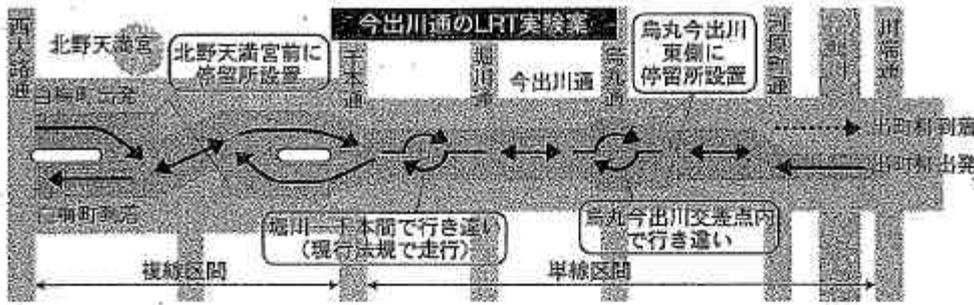
実験区間には四方所の停留所を設け、市民から募集するモニター約三百人に実際に乗り降りを経験してもらう計画だ。単線区間となる烏丸今出川の交差点では、すべての信号を赤にして交差点内

今出川通の車道の一部に仮想LRTの専用車線を設け、約三時間にわた

で約三時間にわた

で往復の車両が行き違っ  
実験も実施する。  
市は実証実験に向け、  
学識経験者や周辺住民ら  
でつくる「今出川通の交  
通まちづくり」とLRT検  
討協議会」を七日付で発  
足させた。

# LRT導入実験バス



次世代型路面電車（LRT）の導入を検討している京都市は七日、LRTの走行を想定した初の実験を来年一月に今出川通（北野白梅町〜出町柳間、四・一・七）で行うと発表した。LRTに見立てた市バスを走らせ、今出川通と周辺道路の混雑の状況や地元住民の生活への影響など効果や課題を検証する。

LRTは低床で乗り降りしやすいが、建設費だけが地下鉄よりも安い。富山市など全国の都市で導入の動きが広がっており、国も整備の支援に乗り出している。

京都市でも二〇三年度からLRTに関する調査を始め、昨年九月に今出川線と都心の小環状線（四条大宮から京都市役所などを循環する四・三・七）をモデル路線に設定し、実現の可能性を探っている。

実験は、今出川通を走る

## 京都市、1月に「発車」、北野白梅町間

今出川線で一月二十四日の午前十時から三時間行い、十分間に一本程度の間隔で「仮想LRT」バスを走らせる。専用レーンを道路中央に設け、道路幅に応じて単線と複線の区間も設定する。四方所の停留所を設け、実際に一般客が乗降するが、利用者は事前申し込み（十二月一日から）の約三百人に限定する。一般車両は外側の一車線を走行することになる。

今後、実験の詳細内容は、この日発足した地元住民、京都府警、学識経験者などで行く協議会を檢討するほか、事前に実験をPRし、一般車両だけでなく荷降ろしの車両も乗り入れを控えるよう呼び掛けている。

市交通政策室は「LRTに対する市民の認知度がまだ低く、実験をきっかけに理解を深めてもらう」としている。

# 新路面電車

次世代型の路面電車（LRT）の導入を検討している京都市は7日、交通量への影響などを調べる実験として、LRTに見立てたバスを今出川通に運行させる方針を明らかにした。来年1月24日午前10時から3時間、中央に専用レーンを設定して実施。交通量調査や利用者アンケートも行い、影響、効果を検証する。市は「LRTは高齢者や障害に優しく、京都のイメージアップにも寄与する一方、渋滞などの悪影響も考えられる。慎重に課題を分析したい」としている。

有識者や沿線住民らから「T検討協議会」で明らかになった。決定させた「今出川」した。実験案では、鞍山電通の交通まちづくりとしてLRT 鉄の出町柳駅から京福電鉄

## バスで試す 渋滞・効果

# 路上の実験

の北野白梅町駅までの4・1キロで実施。4車線のうち、西脇の2車線を一般車専用として確保し、複線、単線の専用レーンを設定、烏丸今出川交差点では信号を全部赤にしてすれかわせる。12月の協議会で実施を正式に決定。実験当日は、沿線と周辺で車の混雑状況を調査。さらにモニター約3

00人を集め、実際にバスに乗ってもらい、アンケートをする。同市は、市内の自動車交通量の削減を目指してLRTの検討を進め、昨年には住民らと意見交換するモデルケースに今出川通など2ルートを設定した。渋滞や採掘性など課題も多く、市は「市民や事業者と議論を

尽くすことが重要」としている。協議会では、委員から「実験は季節変動なども考慮し、複数やるべき」「モニターだけでなく、沿線住民の感想も聞く必要がある」などの注文が続出。「LRTが万能のよう」に言われるが、普及しているヨーロッパと京都は都市構造や国民性が違う」という意見も出ている。

## 京都市来年 今出川通 利用300人調査

平成 18 年 11 月 8 日 読売新聞朝刊

京都市は7日、今出川通の縦電出町柳駅―嵐電北野白梅町駅間(4・1キロ)で導入を目指すLRT(次世代型路面電車)建設に向けた「今出川通の交通まちづくりとLRT検討協議会」を発足した。市は初会合で、来年1月24日に交通社会実験を実施する方針を表明。沿線住民、有識者、タクシー業者ら委員44人は市民周知の方法などについて意見を交わした。

【山田泰雄】

## 今出川通に次世代型路面電車を

### 京都市が検討協議会

実験は周辺道路への影響などを調査し、市民理解を深める狙い。道路幅に応じて複線区間と単線区間を設定、LRTに見立てた市バスを10分間隔で3時間走らせ、今後募集するモニター300人に意見を聴く方針。来月中旬に予定する第2回会合で正式決定の予定。会合では「障害者もモニターに」「LRTだけにとらわれず歩道整備なども含めたまちの活性化を考えて」と意見が出た。

自動車の普及などに伴い、市は「まちの活性化に」  
来年1月に実験

78年に市電を全廃。一方、交通渋滞が慢性化する中、市は騒音や大気汚染など環境面でバスより有利なLRTを新たな公共交通機関として位置づけ、08年から調査・検討を進めてきた。

今出川通では76年春に市電を廃止したが、需要予測や採算性を考慮し同区間を最有力候補に選出。今夏、意見交換会やシンポジウムも実施した。市交通政策室は「克服すべき課題も多いが、まちの活性化にもつながるはず」とした。

平成 18 年 11 月 8 日 毎日新聞朝刊

## LRRT実験の

### モニター募る

#### 京都市来月実施

京都市は、来年一月二十四日に今出川通で予定している次世代型路面電車(LRRT)の走行を想定した実験で、LRRTに

見立てたバスに乗車するモニター三百人を募集している。

今回は、LRRTを導入した場合の交通への影響を調べる初めての実験で、バスを午前十時から午後一時までの三時間、出町柳(左京区)―北野

白梅町(北区)間を約十分間隔で走らせる計画。

モニターは、事前に決められた方式で集合場所から乗車し、途中二カ所の「駅」で乗り降りしてアンケートにも答える。

十八歳以上が対象で、締め切りは二十八日。市役所や区役所、支所にある申込書を郵送、またはファクスで申し込む。問い合わせは市交通政策室 ☎075(222)3483。

# 路面電車復活?

## 今出川通、バスで実験

京都市 来年1月、乗客も募集

京都市で市営の路面電車「市電」が廃止されて約30年。市は、環境への負荷が小さいとされる次世代路面電車「LRT」（ライト・レール・トランジット）として「復活」の可能性を模っている。「まずは知ってもらうことが大事」と、来年1月、今出川通でLRTに見立てたバスを走らせ、効果や影響などを調べる実験をする。

### 市のモデル路線

実験するのは、叡山園遊の2車線を使い、2車線の出町柳駅前（左京区）と京福電鉄北野白梅町駅前（北区）を結ぶ約4.5キロ。市がモデル路線としている「今出川通」だ。今出川線を再現させるには、約3000万円の費用がかかると試算されている。

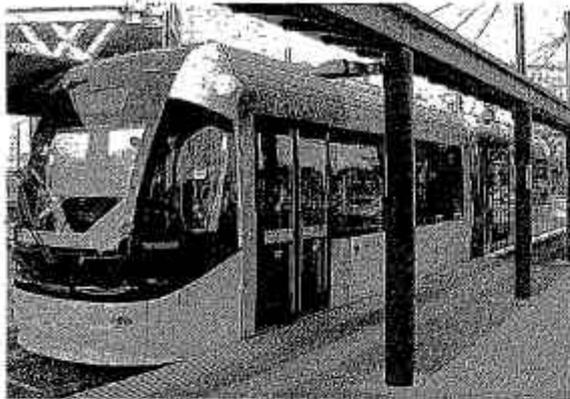
### 批判的な意見も

実験に先立ち、市は今年7・10月に沿線の住民らとの意見交換会を開いた。延べ約400人が参加したが、「バスの利便性を高めるには、狭い今出川通では大きく必要ないところがあるのでは」と一車線にするための方法を考える必要がある」といった批判的な声があがったという。

### 「地域を活性化」

市は01年に「京都市基本計画」で「歩くまち・京都」を掲げ、新しい公共交通システムとしてLRTの導入を検討してきた。昨年8月にまとめた報告書ではLRTを「地域に活性化をもたらす可能性がある一方、自動車交通に与える影響や採算性の確保など多くの課題があり、市民も業者などとの議論を促すことが重要」とした。

◇



富山市内を走るLRT＝京都市提供

市交通政策課の奥田俊夫企画課長は「LRT導入によって車が渋滞したり、迂回が増えたりしてかえって二酸化炭素が増えるかもしれない。車の数を減らすは

市は、18歳以上を対象に、来年1月の実験バスに乗る約200人を募集している。市役所や区役所などに申込書を置いてほしい。ホームページ（<http://www.city.kyoto.jp/kyoto/trafficpolicy/>）からも申し込みできる。問い合わせは市交通政策課（075・252・5100）へ。

平成 18 年 12 月 12 日 朝日新聞朝刊

## 来月24日、LRT実験 京都市

京都市の「今出川通の交通まちづくり」とLRT（次世代路面電車）検討協議会」が十四日、市内で開かれ、LRTに見立てた市バスを走らせ、交通への影響などを調べる実験を、来年一月二十四日に実施する計画案を了承した。

計画では、川端通から西大路通間の今出川通（約四キロ）で、道路中央に専用レーンを設け、午前十時から三時間、十分間隔で市バスの「仮想LRT」を走らせる。この間、今出川通のほか、平

調べたり、沿線で作業するトラックの荷さばきに影響が出ていないかなどを調査する。バスには公募した三百人が乗り込み、仮設の停留場で乗降し、体験の感想も含めたアンケートに答える。車線規制を行うため、各通に実験を事前

に知らせる横断幕や立て看板を設置する。

平成 18 年 12 月 15 日 京都新聞朝刊

# 「反対」が「賛成」上回る

意見交換会で  
市民に調査  
パネル展示などで周知へ

## 来月の社会実験は 昼前後の3時間

LRT（次世代型路面電車）導入を目指す京都市は14日、「今出川線の交通まちづくりとLRT検討協議会」第2回会合で、来年1月24日予定の交通社会実験を午前10時から3時間に限定し、実験区間の今出川通（4・

1区）で交通整理の準備員約180人を配置するなどの案を示した。一方、今年7～10月の意見交換会参加者を対象にした調査では「反対」が回答者の過半数に上った。市は実験モニターに再度アンケートし、国内外の

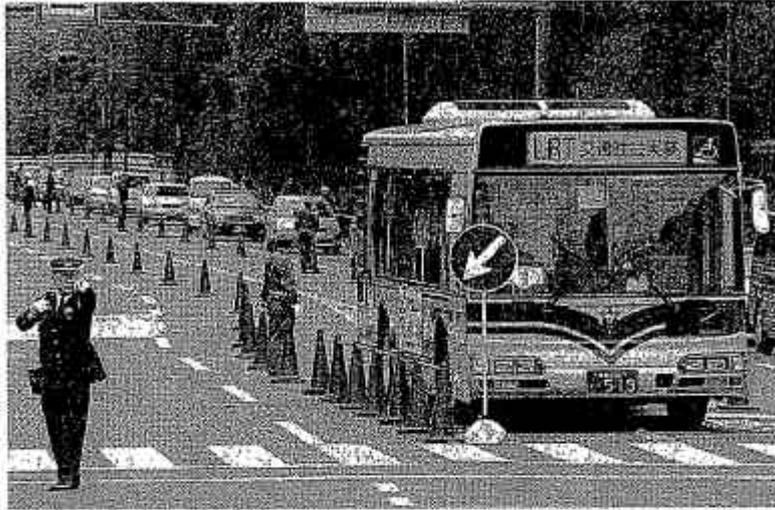
事例を紹介するパネル展示などでも理解を求めていく考えを示している。調査には、意見交換会の参加者約400人中306人が回答。LRT導入について「反対」28・8%、「どちらかと言えば反対」25・2%に対し、「賛成」11・8%、「どちらかと言えば賛成」20・3%で「分からない」も13・7%

いた。残りは不明・無回答だった。回答者は沿線に住む中高年齢が中心で、市は「実験モニターは全市的に公募しており、より幅広い世代の意見も反映したい」と主張。3月の第3回会合で、周辺道路への影響調査などの結果と共に報告する方針という。

会合では、提案に対する異論はなかったが、委員からは交通渋滞への懸念が相次いだ。更に府警が「周辺道路でも渋滞で大きく混乱する可能性があると十分認識を」と念を押す場面も。「市民の苦情には適切な対応を」と求め、市は「責任ある窓口を明らかにしたい」と受け皿作りを表明した。

この他、市は上京区・レジーナ京都で来年1月16～25日、パネル展示やビデオ上映を行い、LRT導入への理解を促す。検討経過や国内外事例紹介のほか、旧京都市電の模型をLRTと比較できるように展示するという。

【山田泰雄】



## 路面電車のしもじでGO

### 京都市、LRT導入で実験

新型路面電車（LRT）の整備を検討している京都市は二十四日、導入の影響を評価する初の実証実験を行った。今出川の車道の中央にカラーコーンで囲った専用車線を設け、午前十時から約三時間、LRTに見立てた専用車線を確保して運行する、LRTに見立てた実験バス（24日午前、京都市上京区）

たバス八両が運行した。実験区間は京福電気鉄道の北野白梅町駅から京阪電気鉄道の出町柳駅までの約四・一キロ。区間内に二カ所の停留所を設け、市民らから募集したモニター約三百人が車両の乗り降りを体験した。周辺道路の交通量の変化や渋滞状況などを調査し、三月下旬に開く地元住民らとの協議会で結果を報告する。

榎本頼兼市長は市中心部で歩行者と公共交通機関を優先する「トランジットモール構想」の実現に意欲を見せている。LRT網整備と並行して市中心部へのマイカー進入規制も検討しており二〇〇八年二月までの任期中に同構想の実現にメドを付けると表明している。ただ、実験が行われた今出川通では交通渋滞などを懸念する付近の住民ら約四十人が「生活圏が脅かされる」として、ピラを配りながらLRT導入に反対を訴えた。

平成 19 年 1 月 24 日 日経新聞夕刊

今出川通で行われたLRTの交通社会実験（午前11時5分、京都市上京区・今出川通島丸付近）



# LRT導入へ実験バスGO

## —— 京都市、今出川通で初実施 ——

### 車線減少で 渋滞の列も

京都市が導入を検討している次世代型路面電車（LRT）の交通社会実験が二十四日、今出川通（北野白梅町一丁目柳間）の北野白梅町一丁目柳間四・一で、初めて行われた。路面電車に見立てた実験バスが道路中央部に設けられた専用走行車線を走行し、約三百人のモニター客が乗り降りした。モニター客の竹下豊子さんは「時間はバスと変わらないように感じた。付近が

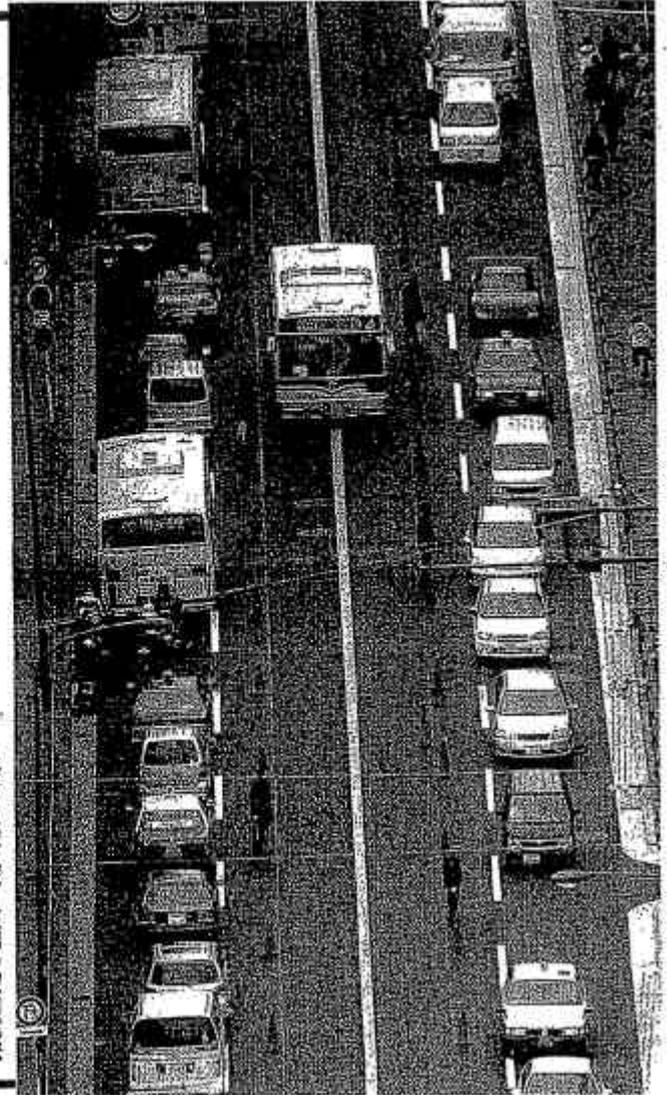
渋滞して気の毒に思った道にどのような影響が出るのか調べた。京都市は公共交通機関優先のまちづくりのため、四条通などを循環する「環状線」と「今出川線」の二路線でLRT導入を検討している。この実験で一般車両の通行が片側二車線から一車線に減少したため、信号待ちの車の長い列ができた。島丸今出川交差点では地元の家町自治連合会が「今出川線」導入に反対する抗議行動をした。

次世代型路面電車（LRT） 低床式軽量車両を使用した新型の路面電車。省スペースで環境面に配慮し、専用軌道を走行するための定時運行が確保される。建設費も地下鉄の十分の一と安価。昨年4月に富山市で開業、全国の自治体で導入の動きがある。

午前10時、市職員が今出川通の車道の中央部にカラーコーンを置き、一般車両を通行禁止にする実験バス専用走行車線を確保、バス八台が十分間隔で東西方向に往復している。途中の北野天満宮前と島丸今出川に停留所を設け、約三百人のモニター客が乗り降りした。

市は今出川通や北大路通、丸太町通の十カ所での交通量を調べるとともに、沿線住民にもアンケート調査し、導入の是非を検討する。

平成 19 年 1 月 24 日 京都新聞夕刊



## 都大路市電すいすい

環境にも人にも優しい次世代  
 型路面電車（LRT）ライト・レ  
 ール・トランシット）の導入に向  
 け、京都市は24日、左京区から北  
 区までの今出川通4キロでLRT  
 に見立てた市バスを走らせる交  
 通社会実験を行った。写真、本  
 社へりから。古都の魅力アップ  
 に役立つと市は期待をかける  
 が、沿線住民には、渋滞がひどく  
 なるとの異論も根強い。189  
 5年に日本最初の路面電車が走  
 った京都で市電が廃止されてか  
 ら28年。すんなり発車オーライ  
 とはいくかどうか。

### 京都市が交通実験

北野白梅町駅と東端の叡山電鉄  
 出町柳駅前から、交通社会実験  
 実施中。エレベーターを掲げた市  
 バス8台が順番に発車した。  
 バスは市民モニター約300  
 人を乗せ、ノロノロ運転の車の  
 列を横目にスイスイと。市電を  
 利用していたという上京区の主  
 婦竹下豊子さん(78)は「懐かし  
 く思いました。渋滞に巻き込ま  
 れずに進んで便利だけれど、そ  
 の分、周りの車が少し気の毒に  
 なりました」と話した。

平成 19 年 1 月 24 日 読売新聞夕刊

# 定時運行に高い評価

京都市のLRT交通社会実験 モニター客「早期の開通を」

次世代型路面電車（LRT）の導入を検討している京都市は二十四日、今出川通の出町柳―北野白梅町間（一・一）で、沿道への影響などを調べる交通社会実験を行った。LRTに見立てた市バスが走行し、通常の市バスよりスムーズな運行に、モニター客からは「早期の開通を」との評価が出た。また、交通渋滞が発生するなど地元住民からは反発の声もあり、市は今後、実験結果を検証し、実現が可能なかどうか探っていく。

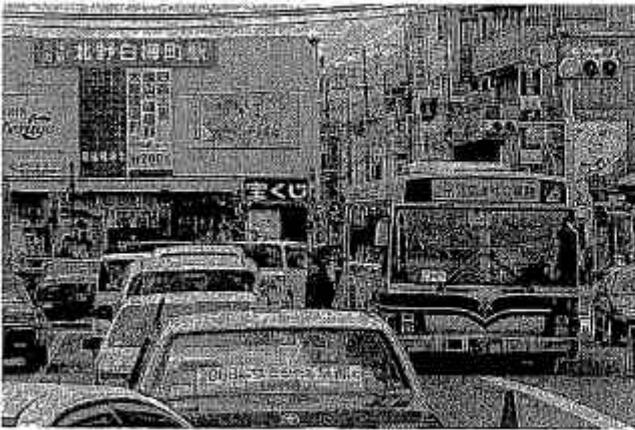
## 渋滞、不満の声も

市は中心市街地の「環状線」と今出川線で、道路上の専用軌道を走る低床式車両のLRT導入を検討している。初の実験運行は、午前十時から三時間、今出川通中央部を一般車両の通行を禁止して行われた。

出町柳―北野白梅町間（一）は、市バスだと約二十分かかるが、LRTを導入すれば十一分に短縮される。この日の実験でも、実験バスは混雑する一般車両を横目に市の設定したダイヤ通りに運行できた。北野天徳宮に参拝しに来た名古屋市の主婦（五十）は「京都のバスはいずれも混雑するので、早く開通してほしい」と期待し、天満宮近くの雑貨店経営藤井孝二さん（五十九）は「天神さんと出町柳が結ばれて便利になり、観光客も増えそうだ」と歓迎していた。

しかし、一般車の通行が片側一車線に規制されたため、各交差点では信号待ちの長い渋滞が発生し、沿道の室町自治連合会がプラカードを掲げ反対する姿も見られた。トラックを店先に止めて商品を搬入しようとしたドライバーがガードマンから制止され、店員の女性（四十）は「荷さばきする場所がなくなる。観光客のために地元住民が犠牲になれということかと憤っていた。

市交通政策課の石橋了室長は「実験の詳細な分析が必要だが、定時運行については効果が見られた。沿道住民の意見も聞いて、導入の是非を判断したい」といい、三月中に実験結果をまとめる。



一般車両で渋滞する車列を横目にスムーズに運行する実験バス（京都市北区）

平成 19 年 1 月 25 日 京都新聞朝刊

# 路面電車再生へ実験

## 今出川通「専用軌道」にバス

次世代型路面電車「LRT」（ライト・レール・トランジット）導入を検討する京都市は24日、今出川通（川端通～西大路通）でLRTに見立てた実験バスを走らせ、交通への影響などを調べた。環境への負荷が小さいとして他都市でも注目を集めるLRTだが、京都での実現には課題が多そうだ。

叡山電鉄出町柳駅前（左京区）と衣笠小学校前（北区）を結ぶ約4キロの「今出川線」には、赤いカラーコーンで専用車線が作られた。警備員約200人が一般車を誘導。午前10時から約3時間、公募した市民約300人を乗せ、東行きと西行き計25便を約10分間隔で走らせた。付近の交通量も渋滞の長さなども調べ、通常時と比較して影響をみる。

かつて市内を走っていた

## 渋滞懸念、採算も課題

「断固反対」のプラカードを掲げた。室町自治連合会役員藤木康男さん(58)は「渋滞で住民が犠牲になるし、採算がとれるのか疑問。乗っている人は便利かもしれないが、周囲の人は大いに不便だ」と話す。

実験バスに乗った北区の男性(70)は「海外で乗ったLRTは便利だった。道幅が狭い京都にもLRTを導入するやり方があるだろうが、車を規制しないと生かせない」と話した。

市交通政策課は近く、沿線周辺の住民や事業者にLRTについてアンケートをする。奥田俊夫企画課長は「この実験を機会に関心をもってもらい議論が広がって欲しい。今後はアンケート結果もふまえて考えていきたい」としている。



今出川通（河原町通～烏丸通）を走る実験バス＝24日午前11時26分、上京区で



# 京都市は 事業化機運いまだ 実証実験

京都市は二十四日、今（LRT）に見立てたバ  
出川通で新型路面電車（LRT）を走らせる実証実験を  
初めて実施



公共交通システムの検  
討」を約束した榎本頼兼  
市長の選挙公約が実行さ  
れた形だが、導入反対の  
声も強まっている。実現  
までの道のりはなお険し  
い。  
歩行者と公共交通を優  
先する街づくりを目指す  
京都市は、市中心部への  
マイカー進入規制などと  
並行してLRTの導入を

検討してきた。

二〇〇五年度から、今  
出川通を東西に走る「今  
出川線」と四季通など市  
中心部を回る「小環状線」  
の二路線の実現に向けた  
具体的な検討を始めた。  
特に今出川線は私鉄との  
接続によって嵐山方面と  
銀閣寺方面を一直線で結  
ぶため、観光振興も期待  
できるといふ。  
一方、京都市上京区の  
住民団体が組織する空町  
自治連合会は二十四日、

実証実験に合わせて今出  
川線建設に反対するビラ  
配りを実施した。同連合  
会の広瀬賢治副会長は

「市内でのLRT導入に  
は賛成だが、なぜ日常生  
活への影響が大きい今出  
川通なのか」と首をかし  
げる。  
石崎了・交通政策室長  
は「LRTは高齢者も乗  
り降りしやすい交通機関  
であり、自動車の排ガス  
を抑えて環境への負担を  
減らす。高齢化社会と環

境への意識向上は建設に  
追い風」と認める。しか  
し「実験結果の取りまと  
め後の作業は白紙」と話  
し、榎本市長も事業化に  
言及していない。

平成 19 年 1 月 25 日 日経新聞朝刊



# 公共交通に思い多様

た。

## ◆反対

烏丸今出川交差点では、室町自治連合会(上京区)の住民約50人が導入反対を叫んだ。粟津道雄会長(69)は「LRTは狭い今出川通には向かない」と訴える。車線減少でタクシーや荷さばき車が一時停止できず、沿線商店の集客への影響を懸念する。「観光客には良くて、市民の生活実態にそぐわない」と強調する。

今さら……。税金の無駄」と話しながらも「時間通りに動く公共交通は魅力」とも述べ、1回の実験では良いか悪いか分からない」と判断しかねていた。タクシーの男性運転手(58)は「車線を減らすなら路上駐車を厳しく取り縮まって。自転車の飛び出しやLRTとすれ違うことを考えれば、広い幅の車線が望ましい」と注文をつけた。

◆ ◆ ◆

市民モニターは「渋滞は気になりましたが」など13項目のアンケートに回答。市は沿線住民へのアンケートも計画中で、3月に予定する「今出川通の交通まちづくり」とLRT検討協議会「第3回会合」で報告する。

## ◆中立

モニター参加した小川自治連合会(同)の藤田美雄会長(66)は「市電を撤廃したのに

## LRT社会実験

京都市が24日に実施したLRT実験では、約300人の市民モニターが4カ所の「駅」で乗り降りした。LRT役の市バス8台を約10分間隔で走らせ、今出川通は一部を除き片側1車線になり、渋滞も発生。府警は「通常の市バスの乗降の際に多少渋滞したが混乱はなかった」、市は「大幅な遅れもなく順調だった」としているが、沿道には「断固反対」を叫ぶ市民の姿もあれば、「車優先社会を変えるには必要」という声も。さまざまに思いで実験を見守った沿線住民やドライバーらの声を聞いた。【山田奈緒】

## ◆賛成

た、沿線の同志社女子地下鉄今出川駅に近大の2年生(20)は「普段上京区御所八幡町の段は地下鉄を使うので町内会長、平田和士と渋滞は気にならない。ん(23)は「荷さばきで近代的な車両が走ればきないと訴える店もある。『同志社』の名前の入った駅名に保は店側の責任」。まなればいいな」と話し

### 「近代的車両の導入を」 「生活実態には不向き」 「時間通り運行は魅力」

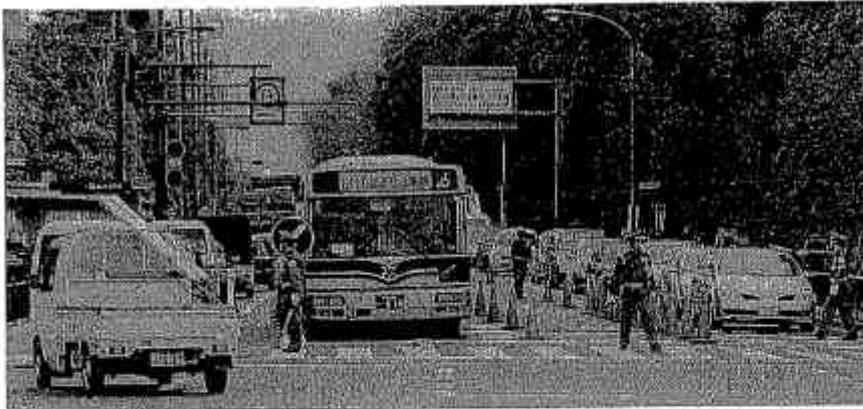
市民らの声

市LRT実験

# 一部で渋滞も

## 「広い通りでない」との声

新型路面電車(LRT)の導入を検討している京都市は24日、北区から左京区にかけての今出川通約4.4区間で、LRTに見立てた市バスを走らせる初めての交通社会実験を行った。道路の一部を占有してLRTの走行環境に近い状態をつくり出し、一般車両の通行や地元住民の生活への影響を調査。一部の区間で大規模な渋滞が発生し、「道路の広い通りでなければ実現は難しい」との声もあがった。事故などの大きなトラブルはなかった。



実験は、北区・北野白

樫町から左京区・出町柳までの区間で、午前10時から午後1時までの3時間実施。西行券と東行券の計25本をほぼ10分間隔で走行させた。

1台につき十数人の市民モニターが乗車し、ポイントごとの到着時間をチェックしたり、窓の外に目をさらして渋滞状況を観察したりしながら、LRT導入に際し配慮すべきことは「道路幅のランゲート」に答えた。

多くの区間では、車線数が片側1車線に減少する交通規制が行われ、乗車約200人が「駐停車『遅慮ください』などの看板を掲げてドライバーに協力を呼びかけ、そ

LRT専用車線を作る実験車(中央)。車線が減少した区間では交通渋滞も発生した。京都市上京区の鳥丸今出川交差点

れでも1車線区間では、路線バスや荷物はきりの配達車両が停車するたびに長い渋滞が発生。鳥丸通から河原町通にかけての西行きなどでは、車が長時間動かないこともあった。

モニターとして乗車し報告していたとしている。

左同市北区の鳥丸、渡辺保夫さん(78)は「もう少し道路の広い通りでなければ実現は難しいのでは」。上京区の主婦(59)は「京都市の町にLRTがあればとかねが思っていたが、渋滞の様子をみて少し心配になった」と話した。通り沿いでは、「LRTと断固反対」などの標幟を掲げる団体もあった。

京都市は「集計した交通量などのデータを今後分析・集計し、3月『LRT検討協議会』で

平成 19 年 1 月 25 日 産経新聞朝刊

## 路面電車 導入に向け走行実験

新型路面電車（LRT）の導入を検討している京都市は24日、北区から左京区の今出川通約4km区間で、LRTに見立てた市バスを走らせる初めての交通社会実験を行った。道路の一部を占有してLRTの走行環境に近い状態をつくり出し、一般車両の通行や地元住民の生活への影響を調査。一部の区間で大幅な渋滞が発生し、「道幅の広い通りでなければ実現は難しい」などの声もあがった。

実験は北区・北野白梅町から左京区・出町柳までの区間で、午前10時から

3時間実施。西行きと東行きの計25本をほぼ10分間隔で走行させた。

1台につき十数人の市民モニターが乗車し、ポイントごとの到着時間をチェックしたり、窓の外に目をこらして渋滞状況を確認したりしながら、「LRT導入に際し配慮すべきことは」など13問のアンケートに答えた。

多くの区間では、片側1車線に減少する交通規制が行われ、警備員約200人が「駐停車ご遠慮ください」などの看板を掲げてドライバーに協力を呼びかけた。

それでも1車線区間では、路線バスや荷さばきの配達車両が停車するたびに長い渋滞が発生。烏丸通から河原町通にかけての西行きなどでは、車が長時間動かないこともあった。

モニターとして乗車した京都市北区の無職男性(78)は「もう少し道幅の広い通りでなければ実現は難しいのでは」。上京区の主婦(59)は「京都の町にLRTがあればとかねがね思っていたが、渋滞の様子をみて少し心配になった」などと話した。

京都市は「集計した交通量などのデータを今後、分析し、3月の『LRT検討協議会』で報告したい」としている。

平成 19 年 1 月 25 日 サンケイ EXPRESS 朝刊

## 参考資料 2 アンケート調査結果

- 1 沿線住民アンケート..... 資 2-1
- 2 沿道商業者アンケート..... 資 2-14
- 3 乗車モニターアンケート..... 資 2-25
- 4 展示ブース来場者アンケート..... 資 2-36

# 1 沿線住民アンケート

## LRT（次世代型路面電車）に関するアンケート

—ご協力をお願い—

今出川通周辺にお住まいの皆様へ

京都市では、自動車交通に過度に依存しない「歩くまち・京都」の実現に向けた取組の一つとして、LRTに関する検討を行っています。このたび、この検討を深めるためのモデル路線である「今出川線」（北野白梅町～出町柳）沿線において、交通社会実験を実施しました。

このアンケートは、LRTをはじめとする新しい公共交通システムについて検討を進めるに当たり、今出川通周辺にお住まいの皆様にご意見をうかがうものです。

皆様にはこのアンケートへのご協力を、よろしくお願いします。

平成19年1月

お問い合わせ先：京都市都市計画局交通政策室  
TEL：075-222-3483 FAX：075-213-1064

《 アンケートにご回答いただく前に、ご一読ください 》

### LRT（次世代型路面電車）とは？

LRTは次世代型の路面電車として、環境にやさしく、最新の各種技術を取り入れ、これまでの自動車交通中心の交通社会を転換させる可能性をもつ新しい公共交通システムで、以下の特徴を持っています。

#### 1. バリアフリーに優れ、ひとにやさしい



#### 2. 歩いて楽しいまちをつくる



#### 4. 専用化された軌道を持ち、時間に正確で乗換えも便利



#### 3. 空気を汚さず、環境にやさしい

#### 5. 建設費が比較的安い



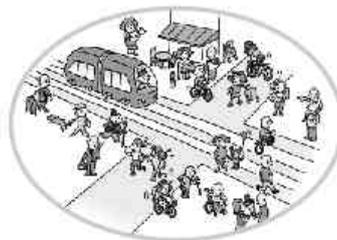
このようなLRTですが、導入に当たっては、以下の課題について十分な検討が必要です。

公共交通優先に伴う自動車利用の抑制

荷さばきなど駐停車スペースの不足

導入に係る財源や用地等の確保

他の鉄道、バス等との連携による公共交通機関全体の利便性向上



京都市のまちづくりにLRTを活用するには、これまでの道路空間や自動車の使い方の工夫や、より良好な交通環境の実現に向けた努力が必要です。

《回答にあたってのお願い》

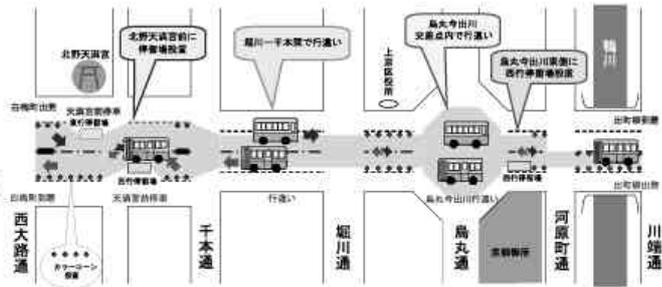
- 回答は本用紙 **右下の回答欄** にご記入ください。
- お手数ですが、**2月15日(木)まで** に回答欄を切り離し、ポストに投函していただきますよう、ご協力をお願いします。(切手は不要です)

問1 「今出川通におけるLRT交通社会実験」の実施についてお聞きします。

1月24日(水)に、今出川通を2車線から1車線に規制したうえで、バスをLRTに見立てて走行させる交通社会実験が実施されました。

この実験の実施をご存じでしたか？

1. 知っていた    2. 知らなかった
- ↓                      ↓
- (1)へお進みください    問2へお進みください



「今出川通におけるLRT交通社会実験」が実施された当日1月24日(10時～13時)の状況を思い出しながらお答えください。

(1) 社会実験の実施を知ったことで、自動車利用を控えようと思いましたか？

1. はい    2. いいえ    3. わからない

(2) 実際、1月24日の実験当日の自動車利用を控えましたか？

1. はい    2. いいえ    3. 自動車を持っていない

理由を2つまでお選びください

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自動車の方が楽に移動できるから  | 4. 荷物を運ぶのに必要だったから  |
| 2. 公共交通が不便だから       | 5. 人の送迎に必要だったから    |
| 3. その他(具体的にお書きください) | 6. 自動車以外での移動は困難だから |

問2 実験当日の日常生活への影響についてお聞きします。

(1) 実験実施により、日常生活に影響がありましたか？

1. あった    2. なかった    → 問3へお進みください。

(2) どのような影響がありましたか？具体的にお答えください。(自由回答)

問3 沿道の交通等についてご感想をお聞かせください。

(1) 普段に比べて、渋滞が気になりましたか？

- ↓
1. 気になった
2. 少し気になった
3. あまり気にならなかった
4. 全く気にならなかった
5. わからない

(2) 実験当日の渋滞の主な原因は何だと思いますか？

- ↓
1. 車線の減少
2. 商店等への荷物の搬入
3. 路線バス、タクシーの乗降
4. 通行する車の増加
5. わからない
6. その他(具体的にお書きください)

**問4 今出川通における「LRTの検討」についてお聞きします。**

(1) 今出川通における現状で、**気になる点を2つ**選んでください。

1. 交通渋滞
2. 自動車やバスの排気ガスや騒音
3. 違法駐車、違法駐輪が多い
4. 歩道が狭く、歩きにくい
5. バスが時間通りに来ない
6. 東(出町柳, 鞍馬など)西(北野白梅町, 嵐山など)方面への移動が不便
7. その他

(2) 今出川通においてLRTを検討する場合、**配慮すべき点を2つ**選んでください。

1. 軌道の専用化による道路の混雑や停車スペースの確保
2. 採算性や運営主体
3. 車庫や停留場などの用地の確保
4. 公共交通全体を利便性向上
5. 二酸化炭素(CO2)など大気環境に与える影響
6. 市民・事業者との合意形成
7. 歩くまち・京都にふさわしいまちづくり
8. 公共交通ネットワークの充実
9. 運行間隔の改善
10. 道路渋滞の緩和
11. その他(具体的に右の回答欄にお書きください。)

(3) 今出川通にLRTが導入されるとすれば、**期待することを2つ**選んでください。

1. バリアフリーに優れていて、乗り降りがしやすい
2. 地域が活性化する
3. バスと比べて多くの人が乗れる
4. 騒音や排気ガスが少なくなる
5. 時間に正確だから予定がたてやすい
6. 東(出町柳, 鞍馬など)西(北野白梅町, 嵐山など)方面への移動が便利になる
7. 特に期待することは無い
8. その他(具体的に右の回答欄にお書きください。)

質問は裏面に続きます。➡

●あてはまる項目の番号をお選びください。  
●「その他」や、回答の「理由」がある場合は、  
具体的な内容をご記入ください。

きりとり線

料金受取人払



差出有効期間  
平成19年3月31日  
(切手不要)

6 0 4 - 8 7 9 0

8 8 8

京都市中京区寺町通御池上ル  
上本能寺前町488番地

京都市都市計画局交通政策室 行



**回答欄**

問1 社会実験の実施について⇒ 1 . 2 . (1つに○を)  
(1)⇒ 1 . 2 . 3 . (1つに○を)  
(2)⇒ 1 . 2 . 3 . (1つに○を)  
理由⇒ 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . (2つまで○を)  
6. その他(具体的にお書きください。)

問2 実験当日の日常生活への影響について  
(1)⇒ 1 . 2 . (1つに○を)  
(2)⇒(具体的にお書きください。)

問3 沿道の交通等について  
(1)⇒ 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . (1つに○を)  
(2)⇒ 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . (2つまで○を)  
6. その他(具体的にお書きください。)

問4 今出川通におけるLRTの検討について  
(1)⇒ 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . (2つに○を)  
(2)⇒ 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . 8 . 9 . 10 . 11 . (2つに○を)  
11. その他(具体的にお書きください。)  
(3)⇒ 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . 8 . (2つに○を)  
8. その他(具体的にお書きください。)



( 1 ) 概要

現在の交通利用状況、今出川通におけるL R T導入に関する意見及び交通社会実験に対する評価等を伺うため、今出川通沿線 10 学区の住民を対象に「市民しんぶん」に折りこみ、配布するかたちで実施した。

- 配布数：27,000
- 回収数：2,602
- 回収率：9.6%

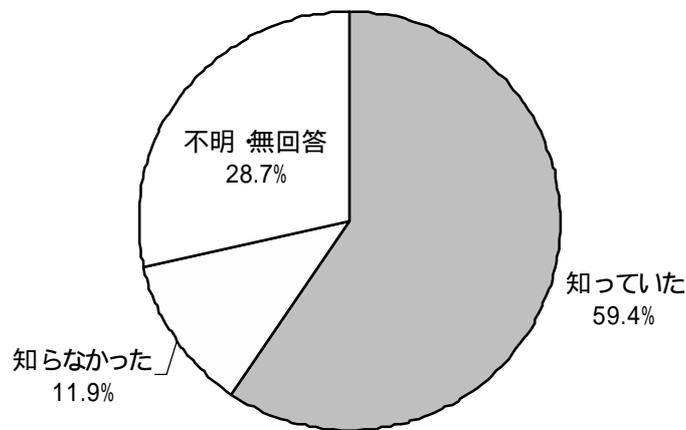
【居住地域別の回答者数および割合】

	大將軍 学区	衣笠 学区	桃園 学区	小川 学区	嘉楽 学区	室町 学区	京極 学区	仁和 学区	翔鸞 学区	養正 学区	その他	不明・ 無回答	合 計
人数 (人)	188	314	128	182	151	303	221	300	259	138	208	210	2602
割合 (%)	7.2	12.1	4.9	7.0	5.8	11.6	8.5	11.5	10.0	5.3	8.0	8.1	100

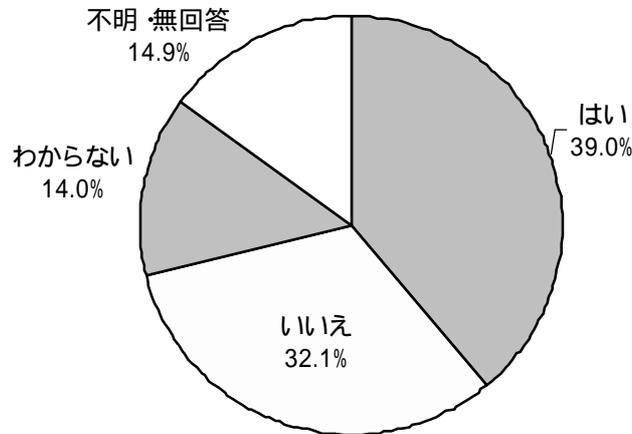
( 2 ) アンケート単純集計結果

問1「実験の実施をご存じでしたか？」について

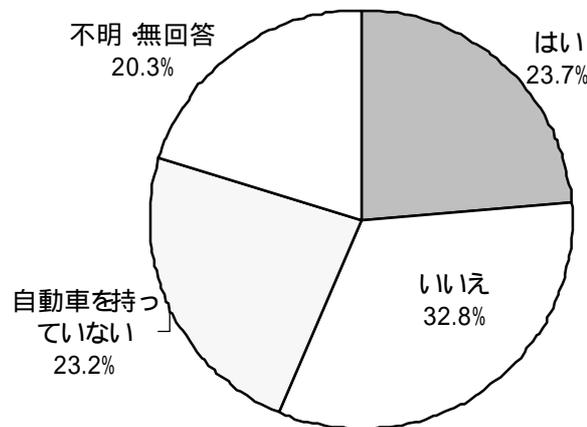
社会実験実施についての認知度は概ね高く、59.4%が「知っていた」と回答している。



問1(1)「社会実験の実施を知ったことで、自動車利用を控えようと思いましたが?」について  
社会実験当日の自動車利用については、「はい(控えようと思った)」が39.0%を占めた。一方、「いいえ(控えようと思わなかった)」が32.1%であった。

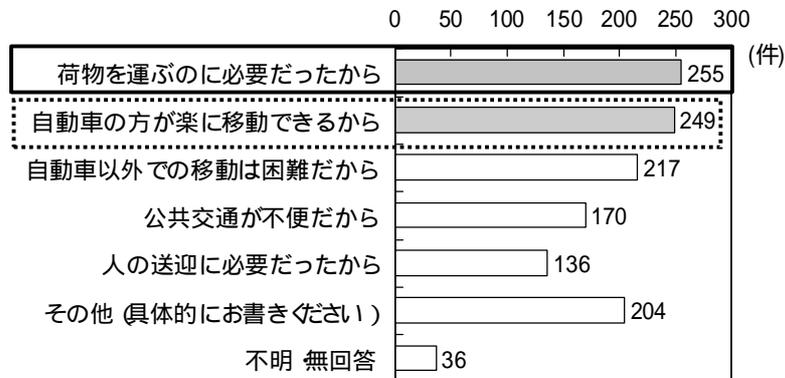


問1(2)「実際に、1月24日の実験当日の自動車利用を控えましたか?」について  
社会実験当日、実際に自動車の利用を控えたかについては、「いいえ(控えなかった)」が32.8%を占め、「はい(控えた)」が23.7%であった。



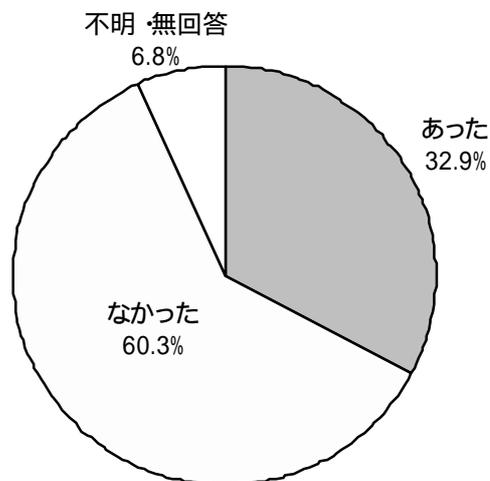
問1(2)副「車を控えなかった理由を2つまでお選びください。」(複数回答)について

「荷物を運ぶのに必要だったから」が255件と最も多く、「自動車の方が楽に移動できるから」という理由も249件とほぼ同数を占めた。



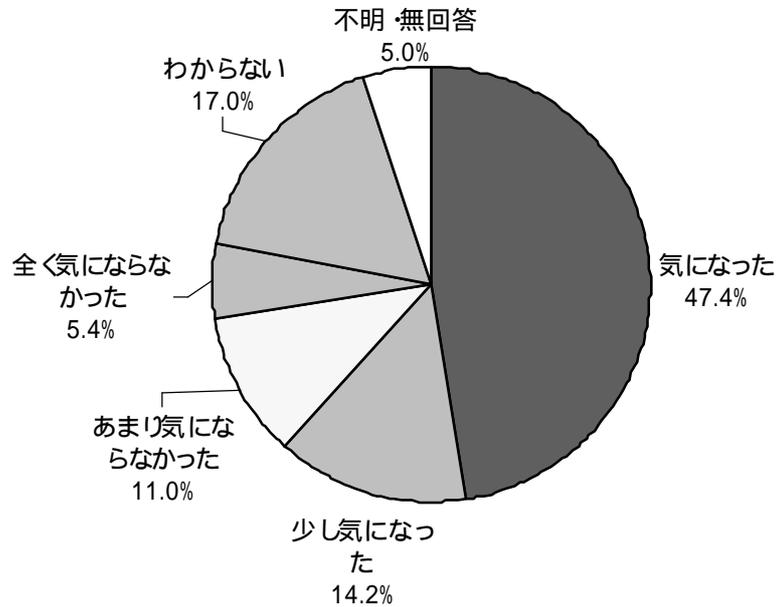
問2(1)「実験実施により、日常生活に影響がありましたか?」について

日常生活への影響については、60.3%が「(影響が)なかった」と回答したものの、「(影響が)あった」との回答も32.9%を占めた。



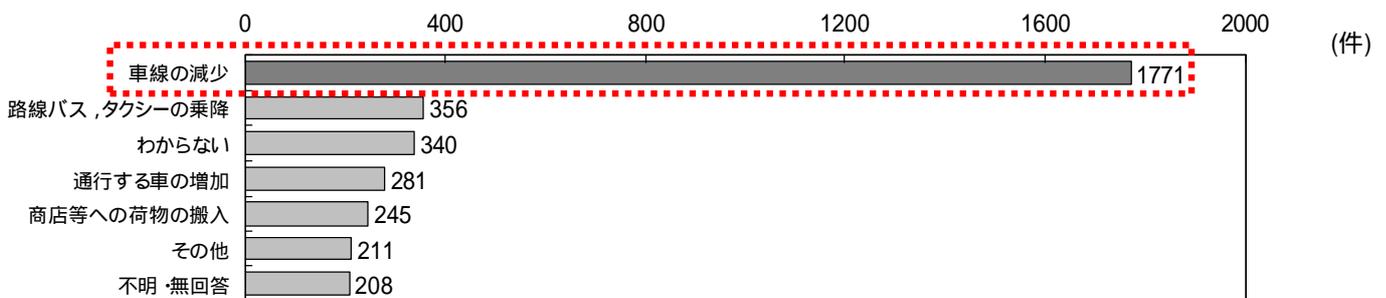
問3(1)「普段に比べて、渋滞が気になりましたか？」について

渋滞については「気になった」が47.4%と最も多く、「少し気になった」の14.2%と合わせると、約6割が渋滞を意識したという結果となった。

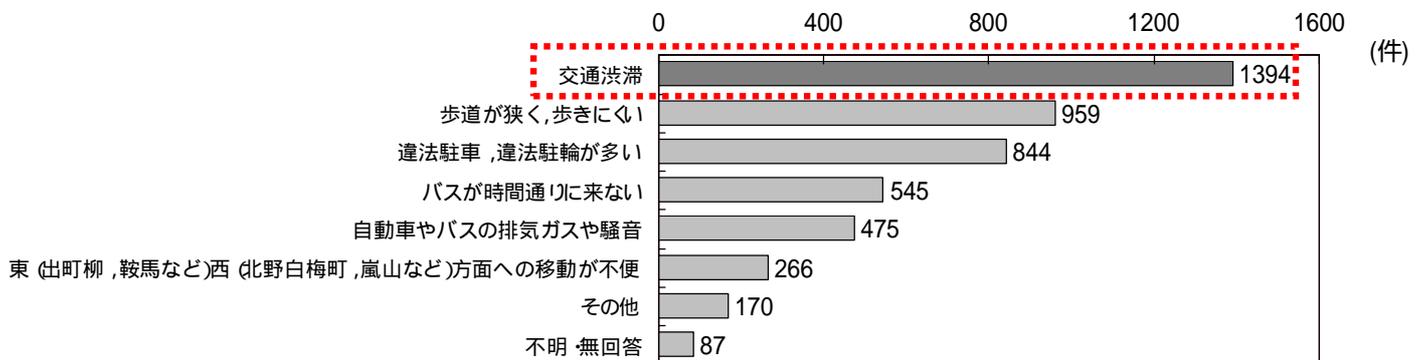


問3(2)「実験当日の渋滞の主な原因は何だと思えますか？2つ選んでください。」(複数回答)について

「車線の減少」が1771件と突出しており、続いて、「路線バス、タクシーの乗降」が356件となっている。

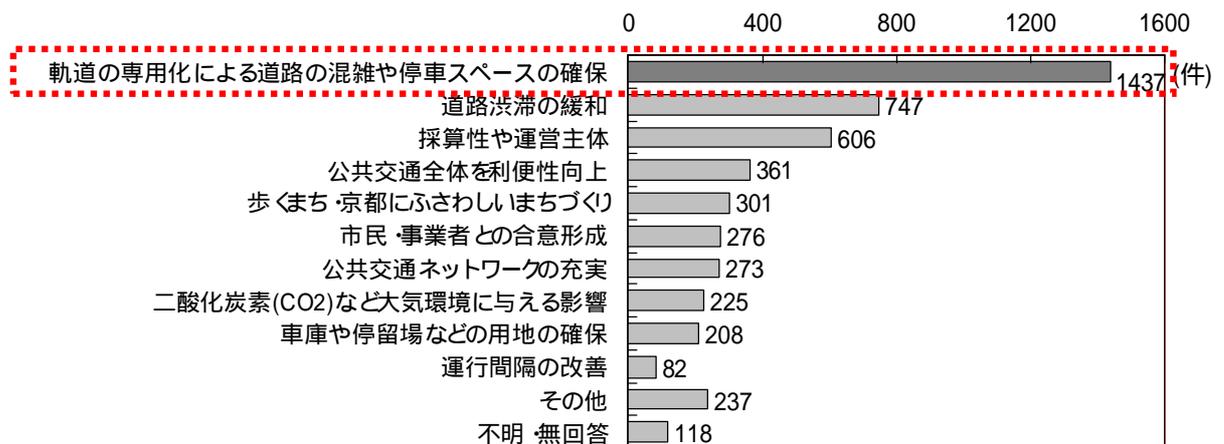


問4(1)「今出川通における現状で、気になる点を2つ選んでください。」(複数回答)について  
 「交通渋滞」が1394件で最も多く、次いで「歩道が狭く、歩きにくい」が959件となっている。



問4(2)「今出川通においてLRTを検討する場合、配慮すべき点を2つ選んでください。」(複数回答)について

「軌道の専用化による道路の混雑や停車スペースの確保」が1437件で最も多く、次いで  
 「道路渋滞の緩和」が747件となっている。



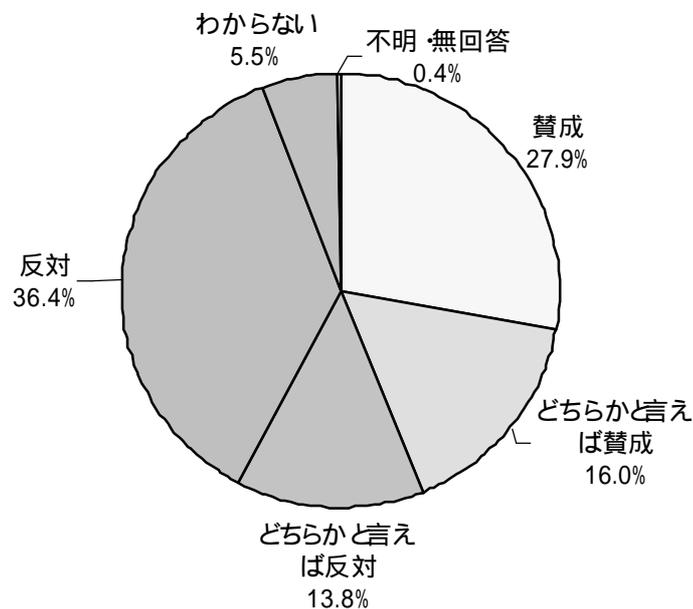
問4(3)「今出川通にLRTが導入されるとすれば、期待することを2つ選んでください。」(複数回答)について

「騒音や排気ガスが少なくなる」が842件と最も多くなっており、次いで「特に期待することは無い」が808件となっている。



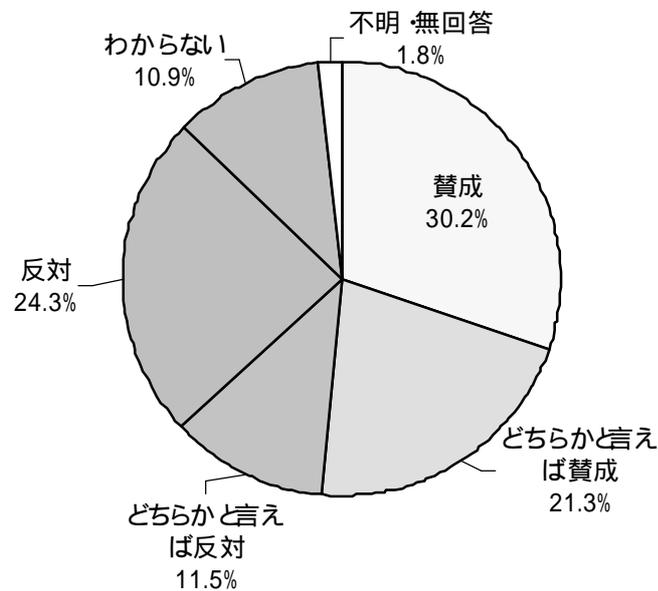
問5(1)「今出川通にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。」について

「反対」が36.4%と最も多く、「どちらかと言えば反対」の13.8%をあわせると50.2%と僅かに過半数を超えた。一方、「賛成」、「どちらかと言えば賛成」をあわせた割合は43.9%であった。



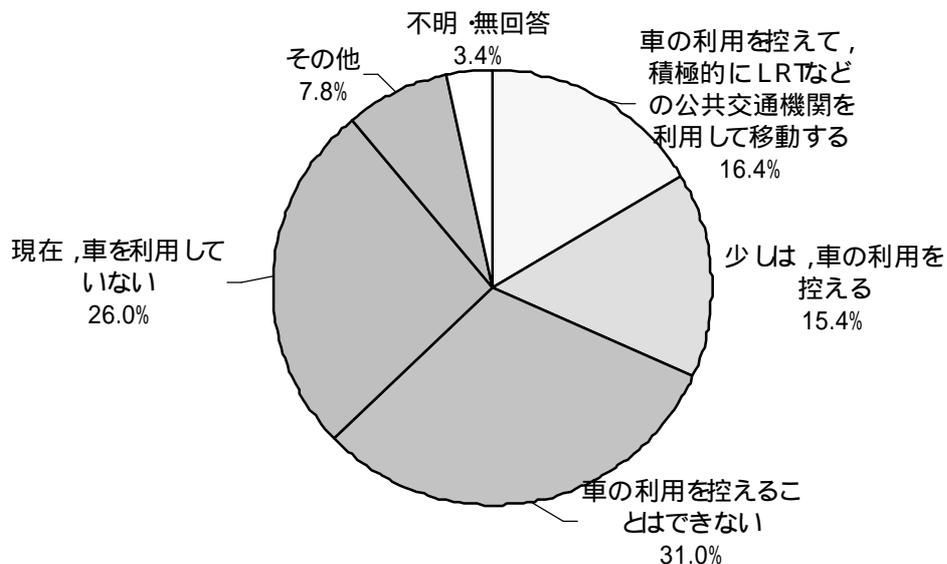
問5(2)「今出川通以外で、京都市内にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。」について

「賛成」が30.2%と最も多く、「どちらかと言えば賛成」の21.3%をあわせた割合は51.5%と過半数を超えた。一方、「反対」は24.3%であり、「どちらかと言えば反対」の11.5%をあわせた割合は35.8%であった。



問5(3)「今出川通にLRTが導入された場合、あなたは、車の利用を控えることができますか。」について

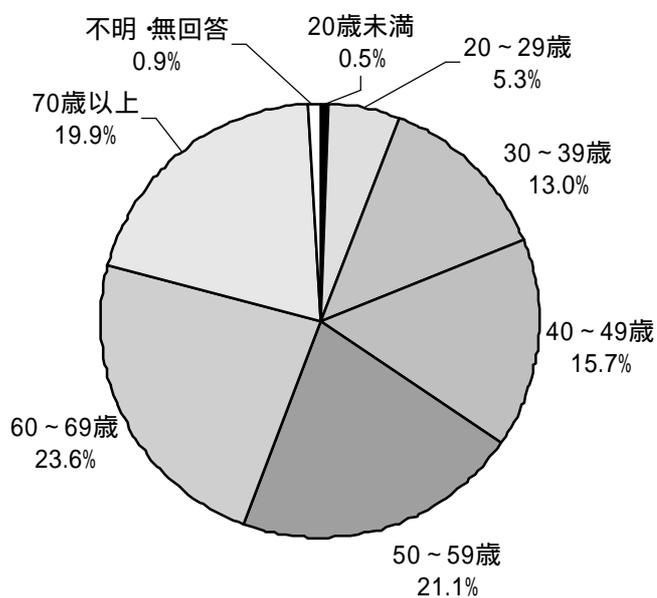
「車を控えることはできない」が31.0%と最も多い一方、「車の利用を控えて、積極的にLRTなどの公共交通機関を利用して移動する」(16.4%)と「少しは車の利用を控える」(15.4%)を合わせた割合は31.8%を占めた。



(3) 回答者の属性

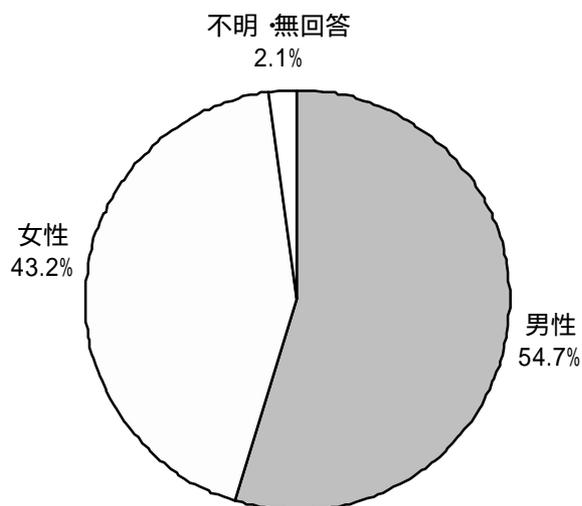
問6(1)「年齢」

「60～69歳」が23.6%と最も多く、次いで「50～59歳」が21.1%となっている。



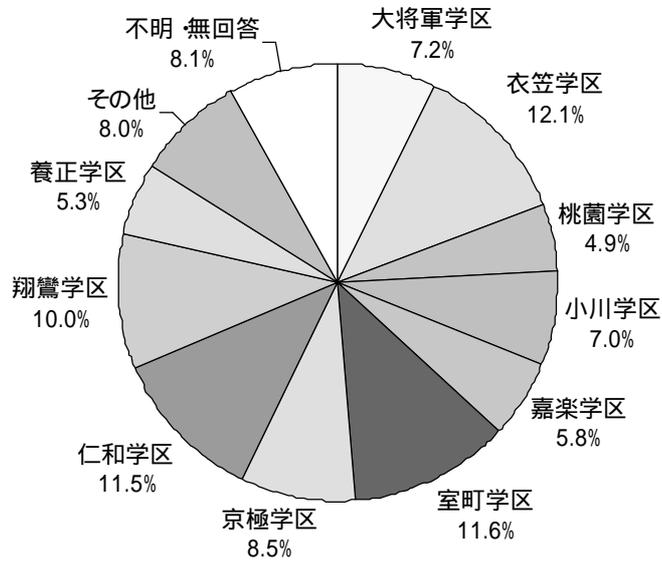
問6(2)「性別」

「男性」が54.7%、「女性」が43.2%となっている。



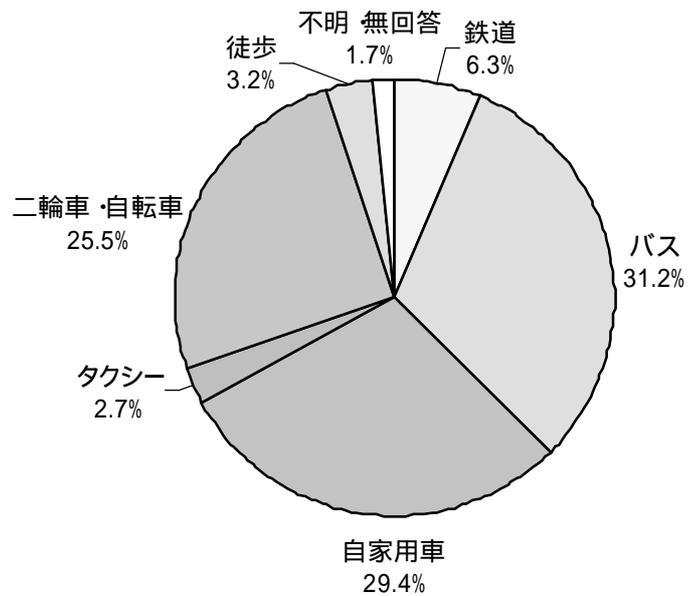
### 問6(3)「居住地」

「衣笠学区」が12.1%と最も多く、次いで「室町学区」が11.6%となっている。



### 問6(5)「移動手段」

「バス」が31.2%と最も多く、次いで「自家用車」が29.4%となっている。



## 2 沿道商業者アンケート

### 今出川通沿道商業者の皆様へのアンケート —ご協力のお願—

1月24日に実施された「今出川通におけるLRT交通社会実験」にご協力いただきありがとうございました。このアンケートは、実験の影響等について今出川通沿道の企業、商店等を対象に実施するものです。ご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先：京都市都市計画局交通政策室  
TEL：075-222-3483 FAX：075-213-1064

「今出川通におけるLRT交通社会実験」の実施についてお聞きします。

- Q1 実験実施により、商業活動に影響がありましたか？
1. あった (⇒Q2へ)
  2. なかった (⇒Q3へ)

- Q2 どのような影響がありましたか？右下の回答欄に具体的にお答えください。

- Q3 普段に比べて、渋滞が気になりましたか？
1. 気になった
  2. 少し気になった
  3. あまり気にならなかった
  4. 全く気にならなかった
  5. わからない

#### 《回答にあたってのお願い》

- ◆回答は本用紙右下の回答欄にご記入ください。
- ◆お手数ですが、**2月21日(水)まで**に回答欄を切り離し、ポストに投函していただきますよう、ご協力をお願いします。(切手は不要です)
- あてはまる項目の番号をお選びください。
- 「台数」や、回答の「理由」がある場合は、数字や具体的な内容をご記入ください。

貴社における日常の自動車利用の実態についてお聞きします。

- Q4 貴社に、荷さばき車両(商品などを搬送するための車両)専用の駐車場はありますか？
1. ある (            台分)
  2. ない

- Q5 貴社において、荷さばき車両は一日に、約何台停車しますか？
1. 一日に、約 (            ) 台
  2. その他 (⇒具体的に)

- Q6 貴社において、荷さばき車両が最も多く停車する時間帯は？
1. 7時～10時
  2. 10時～12時
  3. 12時～15時
  4. 15時～18時
  5. 18時～

- Q7 貴社に、来客者の専用駐車場はありますか？
1. ある (            台分)
  2. ない

- Q8 貴社における来客の利用交通手段は何が多いと思いますか？
1. 自動車が多いと思う
  2. バス・地下鉄が多いと思う
  3. 自転車・徒歩が多いと思う
  4. わからない

裏面へ 

きりとり線

料金受取人払

6 0 4 - 8 7 9 0

中京局  
承認

2474

7 7 7

京都市中京区寺町通御池上ル  
上本能寺前町488番地

差出有効期間  
平成19年4月30日  
(切手不要)

京都市  
都市計画局交通政策室 行



回答欄

- Q1(1つに○を)..... 1.    2.
- Q2(具体的にお書きください。)
- Q3(1つに○を)..... 1.   2.   3.   4.   5.
- Q4(1.を選択の場合、台数を)..... 1.    台分   2.
- Q5(台数をお書きください。)... 1. 一日に約    台  
2. その他
- Q6(1つに○を)..... 1.   2.   3.   4.   5.
- Q7(1.を選択の場合、台数を)..... 1.    台分   2.
- Q8(1つに○を)..... 1.   2.   3.   4.

京都市で検討しているLRT（次世代型路面電車）についてお聞きます。

Q9 今出川通における現状で、気になる点を2つ選んでください。

1. 交通渋滞
2. 自動車やバスの排気ガスや騒音
3. 違法駐車、違法駐輪が多い
4. 歩道が狭く、歩きにくい
5. バスが時間通りに来ない
6. 東（出町柳、鞍馬など）西（北野白梅町、嵐山など）方面への移動が不便
7. その他

Q10 今出川通にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。また、その理由を左下の回答欄にお書きください。

1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対
4. 反対
5. わからない

Q11 今出川通以外で、京都市内にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対
4. 反対
5. わからない

きりとり線

回答欄

Q9(2つに○を)…… 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

Q10(1つに○を)…… 1. 2. 3. 4. 5.

理由(具体的にお書きください。)

Q11(1つに○を)…… 1. 2. 3. 4. 5.

Q12①(1つに○を)… 1. 2. 3.

Q12②(1つに○を)… 1. 2. 3.

Q12③(1つに○を)… 1. 2. 3.

LRTの導入、社会実験についてご自由にご意見をお寄せください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

Q13 業種は？(1つに○を)… 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

Q14 所在地の郵便番号は？

□□□-□□□□

荷さばき駐車対策についてお聞きます。

Q12 仮に、貴社のお近くで以下のような施策が実施された場合、どう思いますか？

- ① 共同の荷さばき駐車場を利用する  
1. 賛成 2. 反対 3. わからない
- ② 荷さばきの時間帯を制限する  
1. 賛成 2. 反対 3. わからない
- ③ 複数の店舗での共同配送  
1. 賛成 2. 反対 3. わからない

今出川通へのLRTの導入について、先日の社会実験を通じてお感じになったことなど、左の回答欄にご自由にご意見をお寄せください。

最後に貴事業所の概要についてお聞きます。

Q13 業種は？

1. スーパー・コンビニエンスストア等
2. 飲食業
3. 個人商店
4. 自動車関係（ガソリンスタンド等）
5. 銀行・郵便局
6. 不動産業
7. その他

Q14 所在地の郵便番号は？

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

( 1 ) 概要

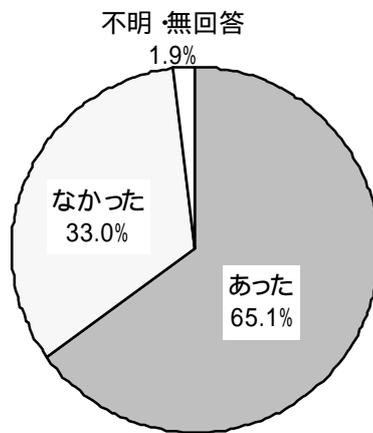
L R T の導入に伴い、強い影響を受けると想定される沿道商業者に対して、L R T に関する意見等を伺うため、各戸に訪問し、アンケートを手渡す方法により実施した。

- 配布数：350
- 回収数：109
- 回収率：31.1%

( 2 ) アンケート単純集計結果

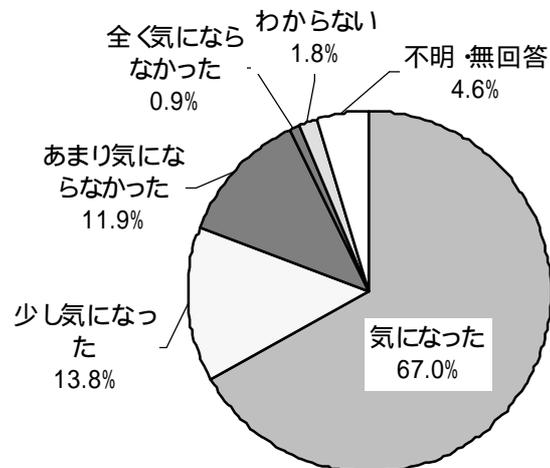
Q 1 「実験実施により、商業活動に影響がありましたか？」について

実験実施による影響については、「（影響が）あった」が 65.1%を占めた。



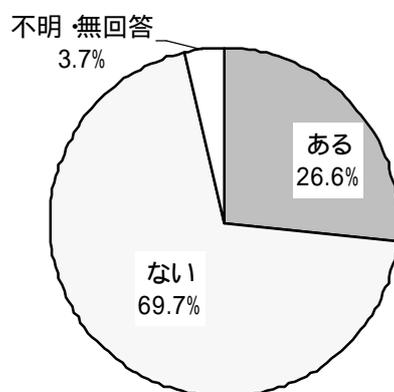
Q 3 「普段に比べて、渋滞が気になりましたか？」について

最も多い回答は「気になった」の 67.0%であり、「少し気になった」の 13.8%を合わせると、約 8 割が渋滞を意識していた。



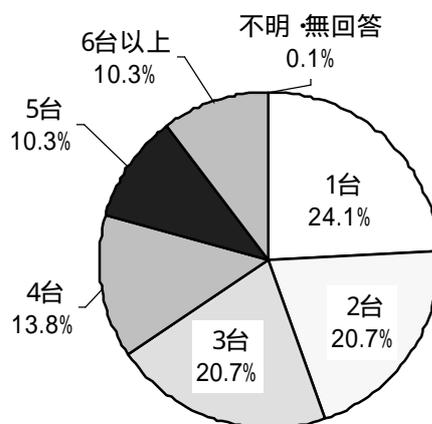
#### Q 4 「荷さばき車両専用の駐車場はありますか？」について

荷さばき車両専用の駐車場については、69.7%が「ない」と回答している。



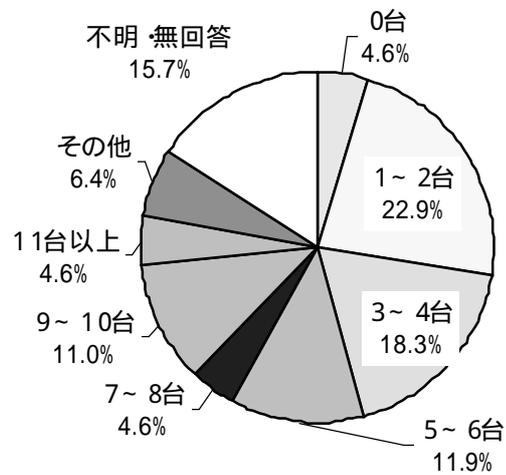
#### Q 4 副 「荷さばき車両専用の駐車場がある場合の台数は？」について

「1台」が 24.1%と最も多くなっており、次いで「2台」、「3台」が 20.7%となっている。



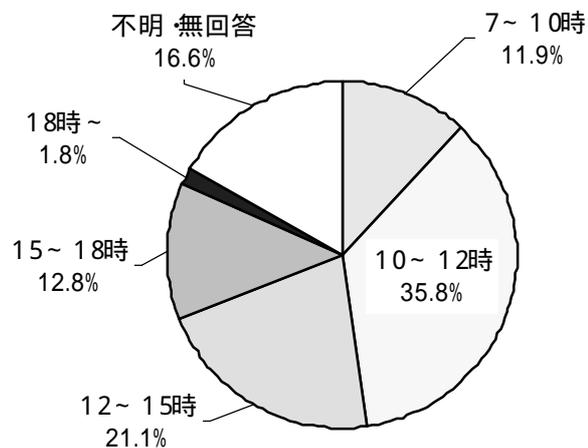
**Q5 「荷さばき車両は1日に、約何台停車しますか？」について**

1日の荷さばき車両の停車台数については、「1～2台」が22.9%と最も多くなっており、次いで「3～4台」が18.3%、「5～6台」が11.9%となっている。



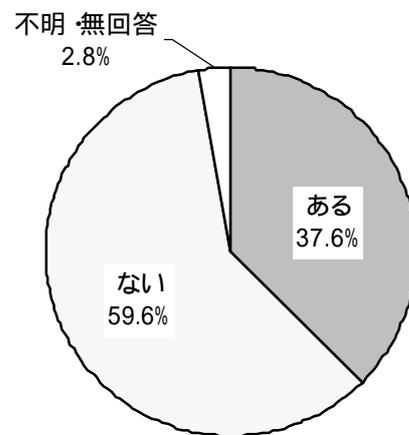
**Q6 「荷さばき車両が最も多く停車する時間帯は？」について**

荷さばき車両の停車時間帯については、「10～12時」が35.8%と最も多く、次いで「12～15時」が21.1%となっている。



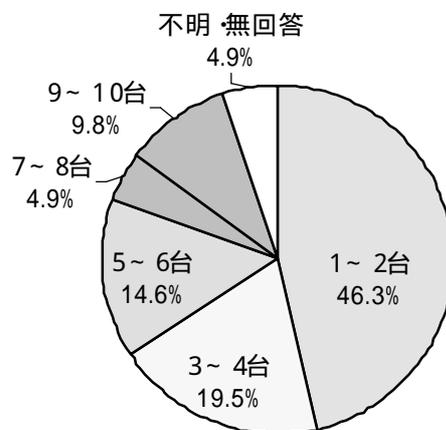
### Q7 「来客者の専用駐車場はありますか？」について

来客者の専用駐車場については、「ない」が 59.6%、「ある」が 37.6%となっている。



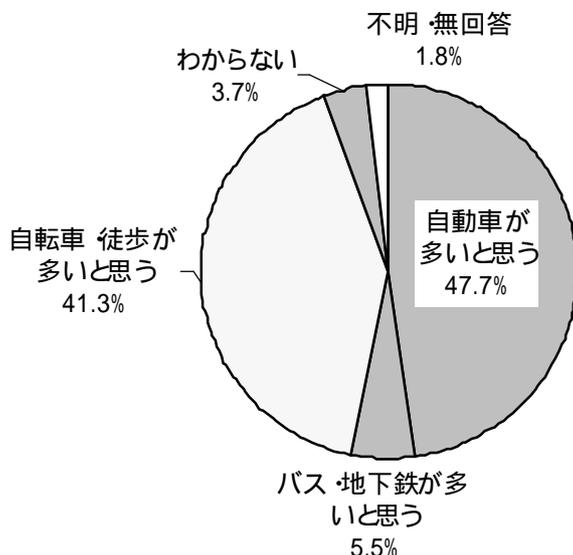
### Q7副 「来客者の専用駐車場がある場合の台数は？」について

「1～2台」が 46.3%と最も多くなっており、次いで「3～4台」が 19.5%、「5～6台」が 14.6%となっている。



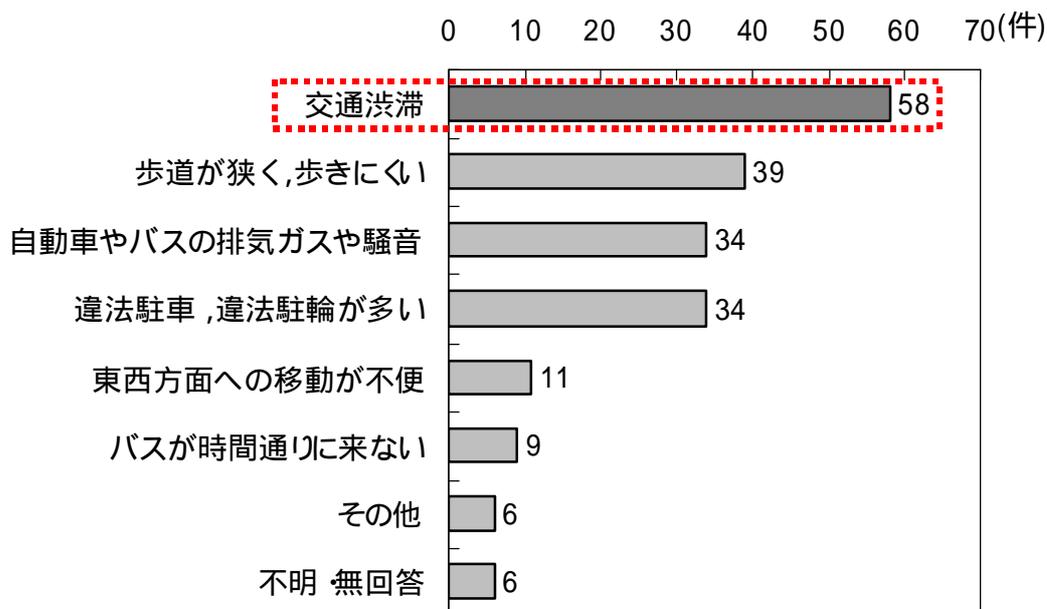
Q 8 「来客の利用交通手段は何が最も多いと思いますか？」について

「自動車」が 47.7%で最も多く、次いで「自転車・徒歩」が 41.3% , となっている。一方 , 「バス・地下鉄」は , 5.5%に留まった。



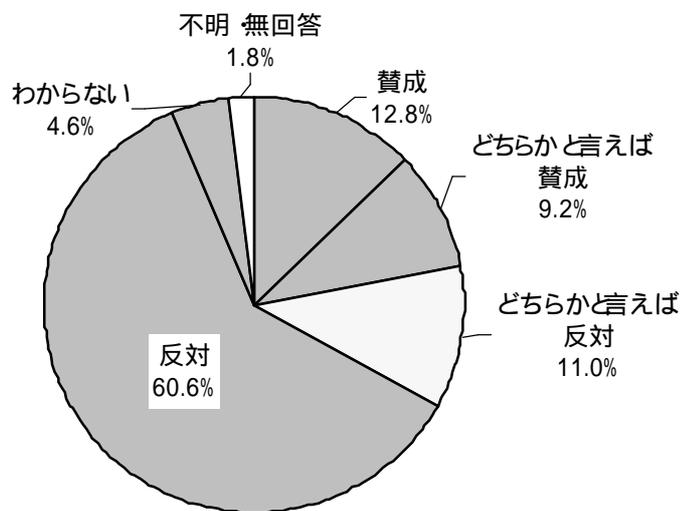
Q 9 「今出川通における現状で、気になる点を2つ選んでください。」(複数回答)について

「交通渋滞」が 58 件と最も多くなっており、次いで「歩道が狭く、歩きにくい」が 39 件、「自動車やバスの排気ガスや騒音」、「違法駐車、違法駐輪が多い」が 34 件となっている。



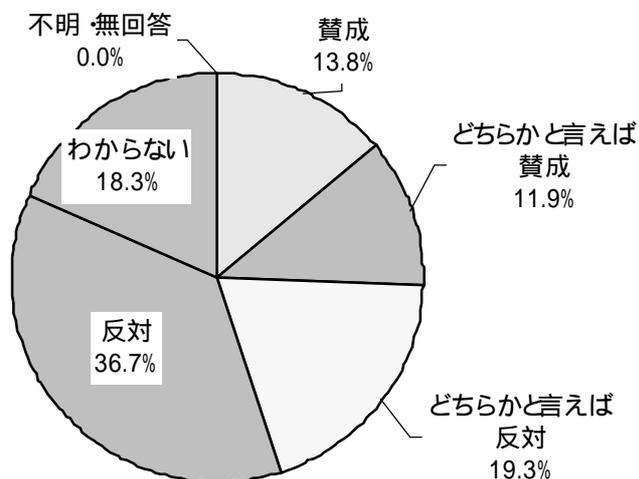
**Q10 「今出川にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。」について**

「反対」が 60.6%を占め最も多く、「どちらかと言えば反対」の 11.0%をあわせると約 7 割が LRT 導入に対して慎重な意見であった。



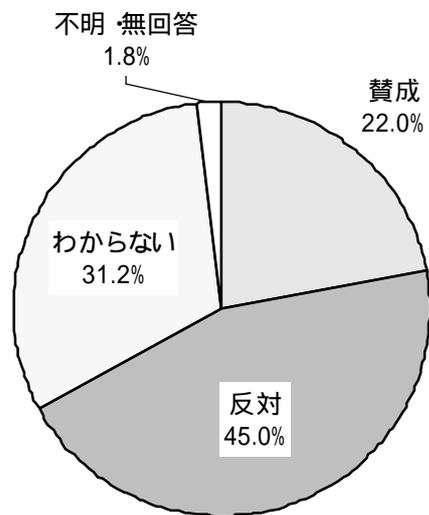
**Q11 「今出川以外で、京都市内にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。」について**

「反対」が 36.7%を占め最も多く、「どちらかと言えば反対」の 19.3%と合わせると、今出川通以外への LRT 導入に対しても、6 割弱が慎重な意見であった。



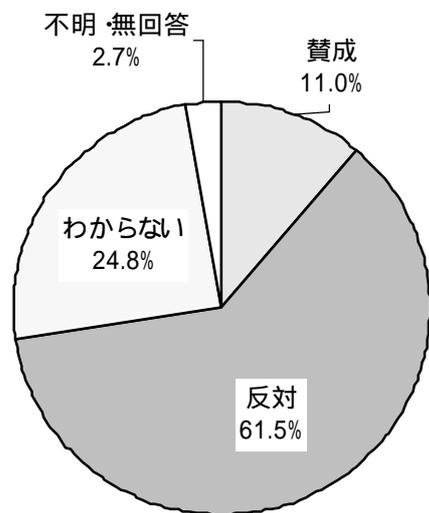
Q12 - 「共同の荷さばき駐車場の利用」について

「反対」が 45.0%で最も多く、次いで「わからない」が 31.2%、「賛成」が 22.0%であった。



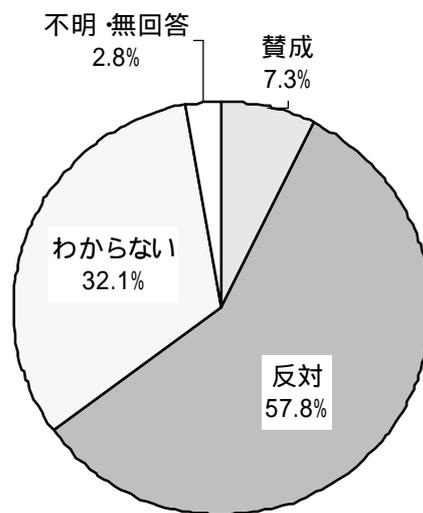
Q12 - 「荷さばきの時間帯の制限」について

「反対」が 61.5%で最も多く、次いで「わからない」が 24.8%、「賛成」は 11.0%にとどまった。



### Q12 - 「複数の店舗での共同配送」について

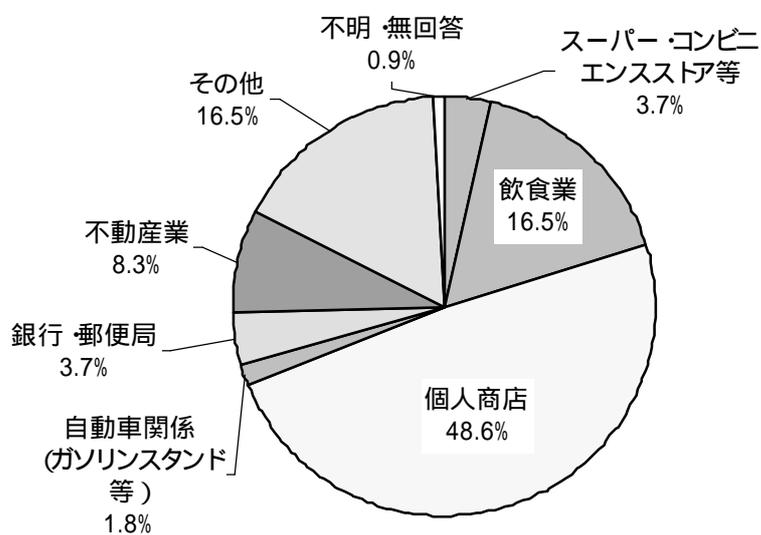
「反対」が 57.8%で最も多く、次いで「わからない」が 32.1%、「賛成」は 7.3%にとどまった。



### (3) 沿道商業者アンケート回答者属性

#### Q13 「業種」について

「個人商店」が 48.6%と最も多くなっており、次いで「飲食業」が 16.5%、「不動産業」が 8.3%となっている。



#### ( 4 ) 沿道商業者の自由意見

沿道商業者の約 7 割弱が L R T の導入 ,社会実験についての具体的な意見の記述が見られた。

##### 自由意見の一例

- 道路が狭く ,今出川通への導入には反対。 L R T 導入するならルートを再検討すべき。
- 商品の積卸しが困難になる。 商売人としては全体に反対。 商売ができなくなる。
- 自動車が多く , しかも駐車スペースの少ない今出川通に L R T を導入することは無謀。 渋滞を引き起こすだけ。 それよりも , 既存の公共交通を改善すべき。

### 3 乗車モニターアンケート

#### 今出川通における LRT 交通社会実験モニターアンケート

本日ご記入いただき、解散場所で名札とともに係員にお渡しください。  
回答は、当てはまる番号に○を、には文字を、お書きください。  
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※ ご記入頂きました個人情報、厳正に管理し、他の目的での利用や第三者へ提供することはありません。

**Q 1 あなたのグループ名は？（名札に書かれている英数字）**

(例 A-1)

**Q 2 今回の社会実験に参加するまで、LRT（次世代型路面電車）を知っていましたか？**

1  
つ  
に  
○  
を

1. よく知っていた
2. 少しは知っていた
3. ほとんど知らなかった
4. 全く知らなかった

**Q 3 実験バス車内のポスター展示はいかがでしたか？**

1  
つ  
に  
○  
を

1. とてもわかりやすかった
2. わかりやすかった
3. どちらとも言えない
4. わかりにくかった
5. 見ていない

**Q 4 実験バス車内の説明はいかがでしたか？**

1  
つ  
に  
○  
を

1. とてもわかりやすかった
2. わかりやすかった
3. どちらとも言えない
4. わかりにくかった

**Q 5 実験バスに乗ってみて、今出川通にLRTが導入された状況を想像できましたか？**

1  
つ  
に  
○  
を

1. 想像できた
2. 少しは想像できた
3. あまり想像できなかった
4. 全く想像できなかった

**Q 6 今出川通の交通渋滞は気になりましたか？**

1  
つ  
に  
○  
を

1. 気になった
2. 少し気になった
3. あまり気にならなかった
4. 全く気にならなかった

**Q 7 本日の社会実験への参加によって、LRTに対する印象は変わりましたか？**

1  
つ  
に  
○  
を

1. 良い印象をもった
2. 少し良い印象をもった
3. 特に変わらない
4. 少し悪い印象をもった
5. 悪い印象をもった

裏に続きます⇒



**Q 8 今出川通にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか？理由もお書きください。**

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

- 1. 賛成
- 2. どちらかと言えば賛成
- 3. どちらかと言えば反対
- 4. 反対

理由は？

**Q 9 LRTが今出川通に導入されるとすれば、配慮すべきことは？(2つに○を)**

- 1. 軌道の専用化による道路の混雑や停車スペースの確保
- 2. 採算性や運営主体
- 3. 車庫や停留場などの用地の確保
- 4. 公共交通全体を利便性向上
- 5. 二酸化炭素(CO2)など大気環境に与える影響
- 6. 市民・事業者との合意形成
- 7. 歩くまち・京都にふさわしいまちづくり
- 8. その他(具体的に→)

**Q 10 LRTが今出川通に導入されるとすれば、期待することは？(2つに○を)**

- 1. バリアフリーに優れていて、乗り降りがし易い
- 2. 地域が活性化する
- 3. バスと比べて多くの人に乗れる
- 4. 騒音や排気ガスが少なくなる
- 5. 時間に正確だから予定がたてやすい
- 6. 東(出町柳、鞍馬など)西(北野白梅町、嵐山など)方面への移動が便利になる
- 7. 特に期待することは無い
- 8. その他(具体的に→)

**Q 11 今出川通以外で、京都市内にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか？**

- 1. 賛成
- 2. どちらかと言えば賛成
- 3. どちらかと言えば反対
- 4. 反対

**Q 12 ご自身についてお聞きます。**

- (1) ご年齢は？(20歳未満・20~29歳・30~39歳・40~49歳・50~59歳・60~69歳・70歳以上)
- (2) 性別は？(男性・女性)
- (3) ご自宅の郵便番号は？( )
- (4) 普段、最もよく利用する移動手段は？  
通勤されている方は「通勤手段」を、それ以外の方は、買い物等の「日常的な移動手段」に○をお書きください。  
(鉄道・バス・自家用車・タクシー・二輪車または自転車・徒歩のみ)

**Q 13 本日の社会実験に参加された感想等、ご自由にご意見をお寄せください。**

[Empty box for comments]

以上でアンケートは終了です。解散場所で名札とともに係員にお渡しください。  
実験へのご協力ありがとうございました。

( 1 ) 概要

社会実験への評価や、LRTに関する意見等を伺うため、実際に実験バスへの乗降を体験していただいたモニターを対象に実施した。乗車モニターアンケート回答者数は、衣笠校前発（東行き）が125名（参加者数126名）、出町柳駅前発（西行き）が116名（参加者数122名）であり、延べ241名であった。

- 配布数（モニター数）：248
- 回収数：241
- 回収率：97.2%

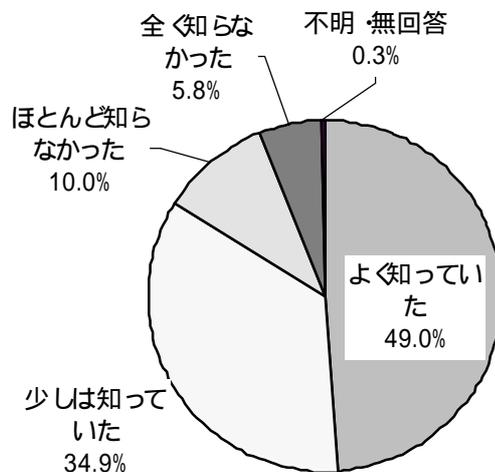
[発地点別アンケート回答者数および参加者数]

発地点	衣笠校前発（東行き）	出町柳駅前発（西行き）	計（人）
アンケート回答者数（人）	125	116	241
参加者数（人）	126	122	248

( 2 ) アンケート単純集計結果

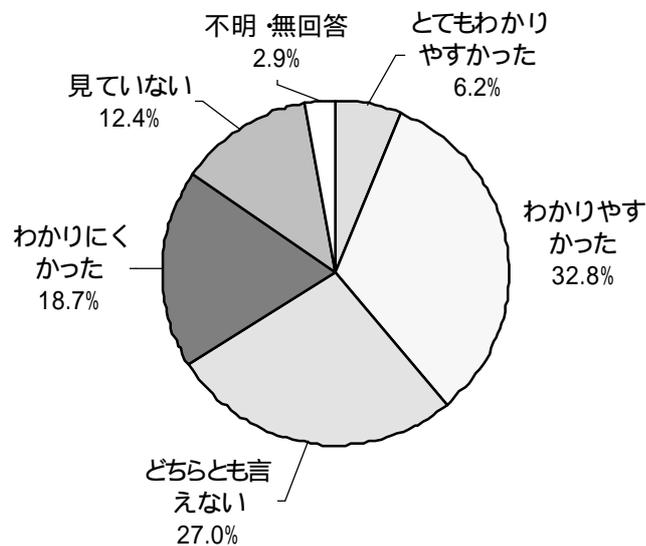
Q2「社会実験に参加するまで、LRTを知っていましたか？」について

「よく知っていた」が49.0%を占め最も多く、「少しは知っていた」の34.9%を合わせると、LRTの認知度の高さがわかる。一方、「ほとんど知らなかった」は10.0%に留まっている。



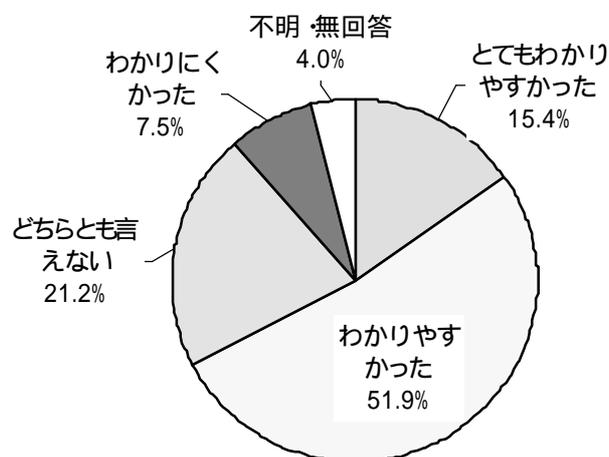
### Q3 「実験バス車内の展示はいかがでしたか？」について

「わかりやすかった」が 32.8%を占め最も多く、次いで「どちらとも言えない」が 27.0%、さらに「わかりにくかった」が 18.7%となっている。



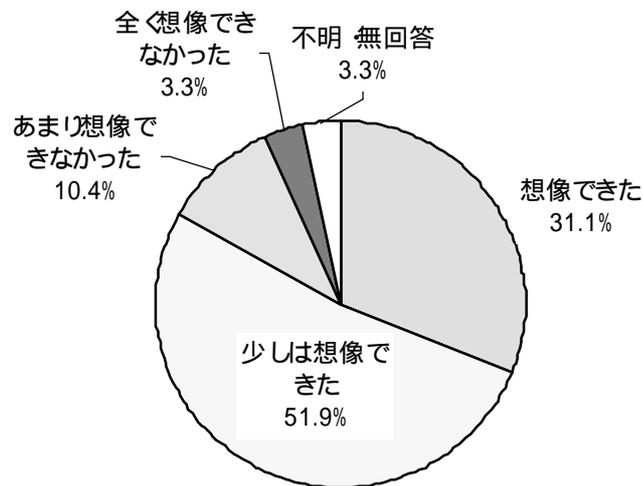
### Q4 「実験バス車内の説明はいかがでしたか？」について

「わかりやすかった」が 51.9%を占め最も多く、次いで「どちらとも言えない」が 21.2%、となっている。



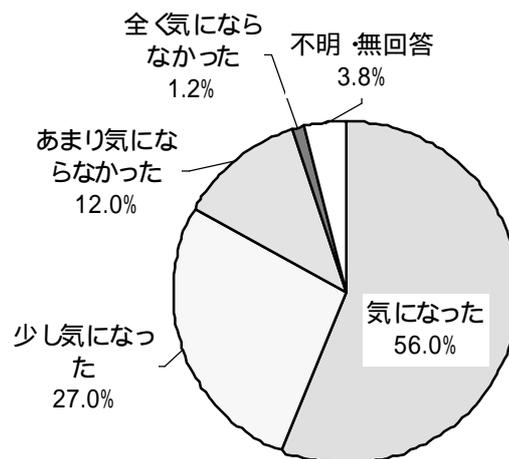
Q5 「実験バスへの乗車によって、今出川通に LRT が導入された状況を想像できましたか？」  
について

「少しは想像できた」が 51.9%を占め最も多く、次いで「想像できた」が 31.1%，となっている。逆に「全く想像できなかった」は最も少なく 3.3%となっている。



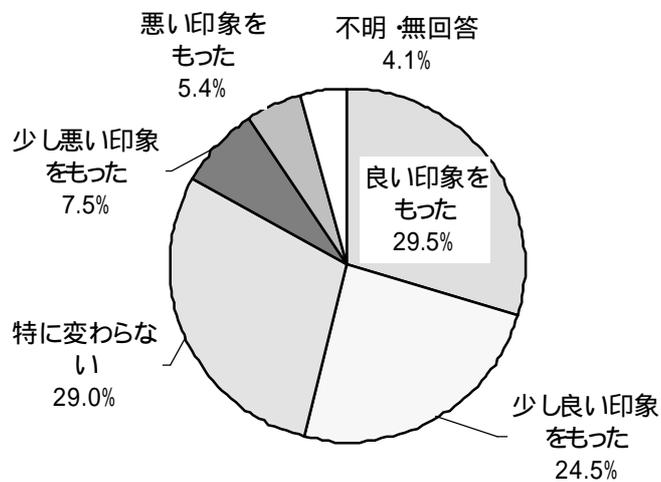
Q6 「今出川通の交通渋滞は気になりましたか？」について

「気になった」が 56.0%を占め最も多く、次いで「少し気になった」が 27.0%，さらに「あまり気にならなかった」が 12.0%となっている。



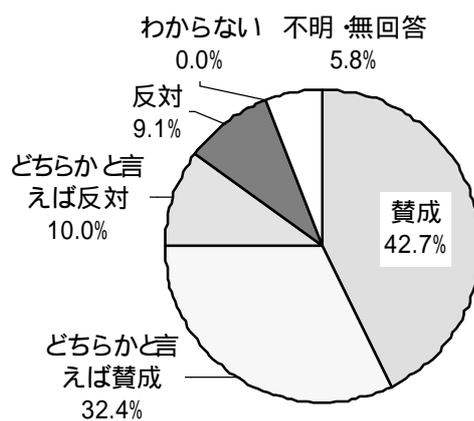
**Q7 「本日の社会実験への参加によって、LRT に対する印象は変わりましたか？」について**

「良い印象をもった」が 29.5%を占め最も多く、次いで「特に変わらない」が 29.0%を占め、さらに、「少し良い印象を持った」が 24.5%となっている。



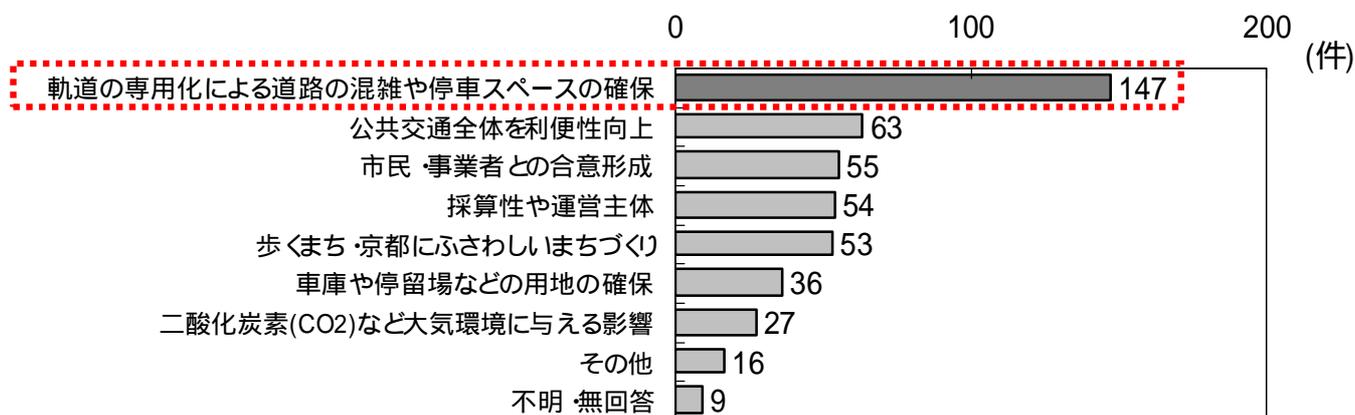
**Q8 「今出川通にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。」について**

「賛成」が 42.7%を占め最も多く、「どちらかと言えば賛成」の 32.4%を合わせると、約7割が今出川通へのLRTの導入に対して前向きな意向を示している。一方、「反対」は 9.1%、「どちらかと言えば反対」は 10.0%であった。



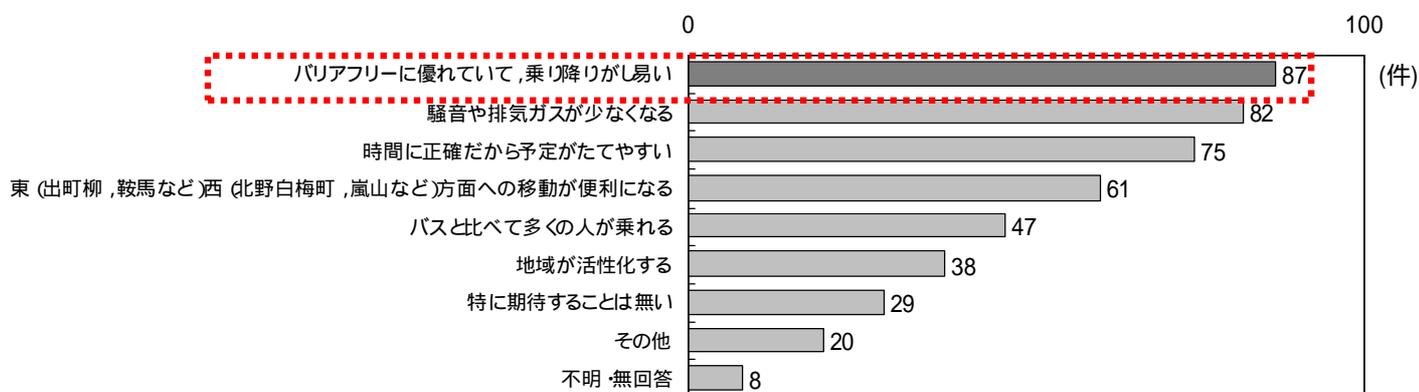
Q9「LRTが今出川通に導入された場合、配慮すべきことは？（2つにを）」について

「軌道の専用化による道路の混雑や停車スペースの確保」が147件で最も多くなっており、次いで「公共交通全体を利便性向上」が63件、「市民・事業者との合意形成」が55件、「採算性や運営主体」が54件、「歩くまち・京都にふさわしいまちづくり」が53件であった。



Q10 「LRTが今出川通に導入されるとすれば、期待することは？（2つを）」について

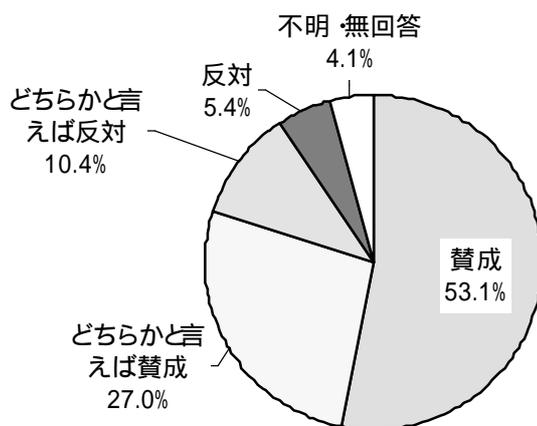
「バリアフリーに優れていて、乗り降りがし易い」が87件で最も多くなっており、次いで「騒音や排気ガスが少なくなる」が82件となっている。逆に、最も少ないのは「特に期待することは無い」の29件であった。



Q11 「今出川通以外で、京都市内にLRTが導入されるとすれば、どう思いますか？」について

「賛成」が53.1%を占め最も多く、「どちらかと言えば賛成」の27.0%を合わせると約8割が今出川通以外でのLRTの導入について、前向きな意向を示している。

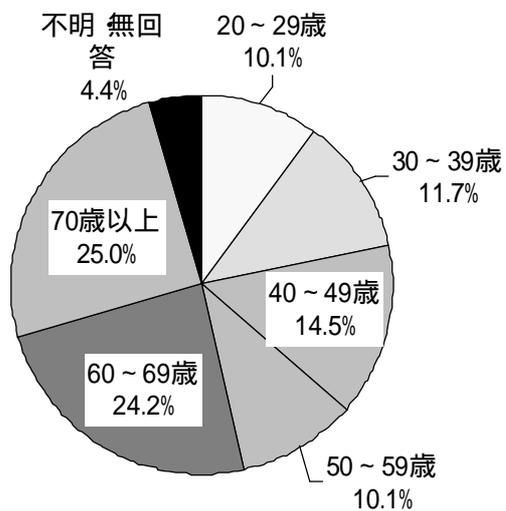
一方、「反対」は最も少なく5.4%に留まっている。



(3) 乗車モニター属性

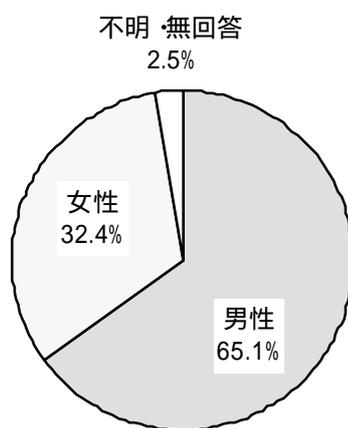
Q12(1) 年齢

「70歳以上」が25.0%と最も多くなっており、次いで「60～69歳」が24.2%、「40～49歳」が14.5%となっている。



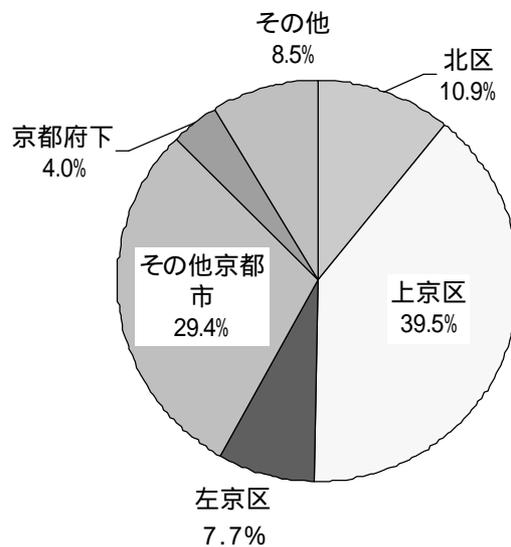
Q12(2) 性別

「男性」が65.1%、「女性」が32.4%であった。



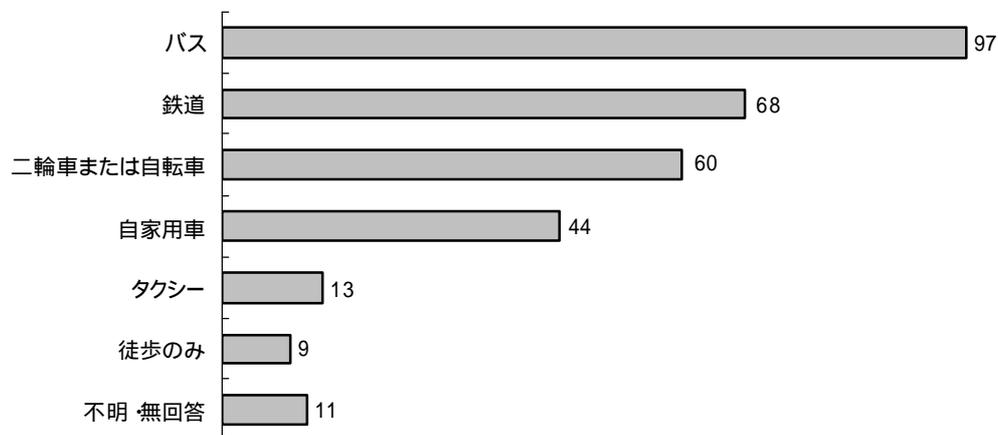
### Q12(3) 居住地

「上京区」が39.5%と最も多くなっており、次いで「北区」が10.9%、「左京区」が7.7%となっている。



### Q12(4) 普段最もよく利用する移動手段

「バス」が97件で最も多くなっており、次いで「鉄道」が68件、「二輪車または自転車」が60件となっている。



#### (4) 参加の感想・自由意見

73.0%から感想，意見等の記述があった。

##### 自由意見の一例

- 社会実験を実施するのは非常に良いことだと思う。ただ，市民や観光客への周知が足りなかったと思う。
- 今出川通にLRTを導入する際は，できるだけ単線区間を短くすることが必要だと思う。
- 交差点の行違いのところが円滑に通過できるのかが，少し気になるところです。
- 車の絶対数を減らしてからでもLRTの導入は遅くないと思う。新しい公共交通は必要だと思いますが，現時点の車の多さでは，反対です。
- 参加してよかったと思います。少しは想像が膨らんだ。

## 4 展示ブース来場者アンケート

### L R Tに関するアンケート

本日はご来場いただきまして、ありがとうございます。ご来場の皆さんに、簡単なアンケートを実施しています。新しい公共交通システムであるL R Tに関して皆さんのご意見をお聞かせください。御協力のほど、よろしくお願いします。

Q1 ご来場になるまでL R Tのことを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. よく知っていた    | 2. 少しは知っていた。 |
| 3. ほとんど知らなかった | 4. 全く知らなかった  |

Q2 今出川通における現状で、気になる点を2つ選んでください。

- |                                      |                   |
|--------------------------------------|-------------------|
| 1. 交通渋滞                              | 2. 自動車やバスの排気ガスや騒音 |
| 3. 違法駐車、違法駐輪が多い                      | 4. 歩道が狭く、歩きにくい    |
| 5. バスが時間通りに来ない                       |                   |
| 6. 東(出町柳、鞍馬など)西(北野白梅町、嵐山など)方面への移動が不便 |                   |
| 7. その他                               |                   |

Q3 現在の公共交通機関(バス、地下鉄など)の魅力を高めるためには、何が必要だと思いますか。当てはまるものを2つ選んでください。

- |                                |             |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 行先、経路の分かりやすい表示              | 2. 時間に正確な運行 |
| 3. 運賃体系の見直し                    | 4. 乗換の利便性向上 |
| 5. 混雑の解消                       | 6. 企画切符の充実  |
| 7. 高齢者や身体に障害のある方などへの配慮(バリアフリー) |             |
| 8. 公共交通ネットワークの充実               |             |
| 9. その他( )                      |             |

Q4 L R Tが今出川通に導入されるとすれば、どう思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。また、その理由をお書きください。

- |               |               |          |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 賛成         | 2. どちらかと言えば賛成 |          |
| 3. どちらかと言えば反対 | 4. 反対         | 5. わからない |
| 理由( )         |               |          |

Q5 今出川通において今後L R Tを検討する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。当てはまるものを2つ選んでください。

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 軌道の専用化による道路の混雑や停車スペースの確保 |                           |
| 2. 採算性や運営主体                 | 3. 車庫や停留場などの用地の確保         |
| 4. 公共交通全体を利便性向上             | 5. 二酸化炭素(CO2)など大気環境に与える影響 |
| 6. 市民・事業者との合意形成             | 7. 歩くまち・京都にふさわしいまちづくり     |
| 8. その他( )                   |                           |

裏面に続く

Q 6 今出川通にLRTが導入されるとすれば、あなたは、車の利用を控えることができますか。当てはまるものを1つ選んでください。

LRTが導入されると、公共交通が便利になる一方、車線減少によって道路が混雑することが予想されます。その解決には、市民の皆様ひとりひとりが、車の利用について考えていただくことも必要となります。

1. 車の利用を控えて、積極的にLRTなどの公共交通機関を利用して移動する
2. 少しは、車の利用は控える
3. 車の利用を控えることはできない
4. 現在、車を利用していない
5. わからない
6. その他 ( )

Q 7 今出川通にLRTが導入されるとすれば、期待することは何ですか。当てはまるものを2つ挙げてください

1. バリアフリーに優れていて、乗り降りがし易い
2. 地域が活性化する
3. バスと比べて多くの人に乗れる
4. 騒音や排気ガスが少なくなる
5. 時間に正確だから予定がたてやすい
6. 東(出町柳, 鞍馬など)西(北野白梅町, 嵐山など)方面への移動が便利になる
7. 特に期待することは無い
8. その他 ( )

Q 8 今出川通以外で京都市内へLRTが導入されるとすればどう思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。また、その理由をお書きください。

1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対
4. 反対
5. わからない

理由 ( )

Q 9 今回のLRT展示ブースをご覧になったの感想をお聞かせください。

1. とても充実していた
2. 充実していた
3. 普通だった
4. あまり充実していなかった
5. 充実していなかった

Q 10 LRT等の新しい公共交通システムのあり方などについて、ご自由にご意見をお寄せください。



以下は差し支えなければお答え下さい。

ご年齢(20歳未満 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上)  
 性別 (男性 女性)  
 ご住所 ( 府県 市町村 区 町)

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

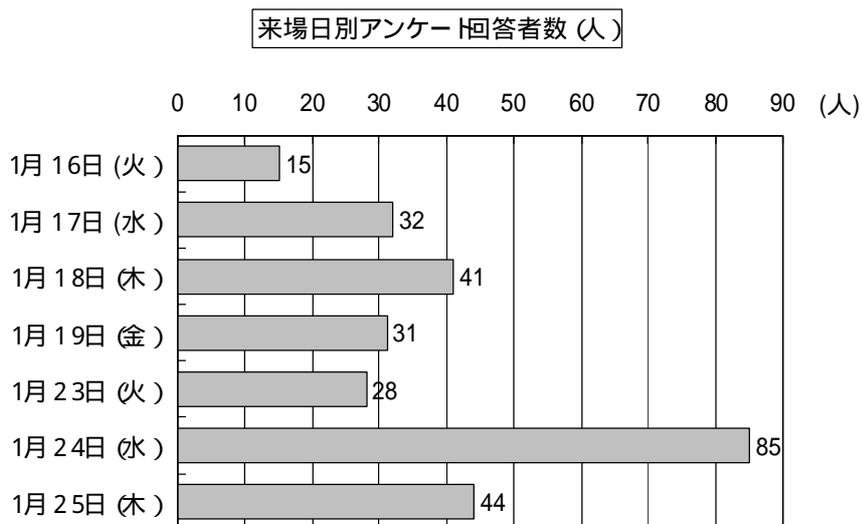
(1) 概要

L R Tに関する意見や、展示ブースについての感想等を伺うため、来場者を対象に実施した。期間中の来場者は延べ 504 名であり、アンケート回答者数は 276 名であった。来場者数は 1 月 24 日(水)(社会実験当日)が 163 名と最も多く、アンケート回答者も 85 名と最も多かった。

- 配布数(来場者数): 504
- 回収数: 276
- 回収率: 54.8%

【展示ブース来場者アンケート回答者数および来場者数】

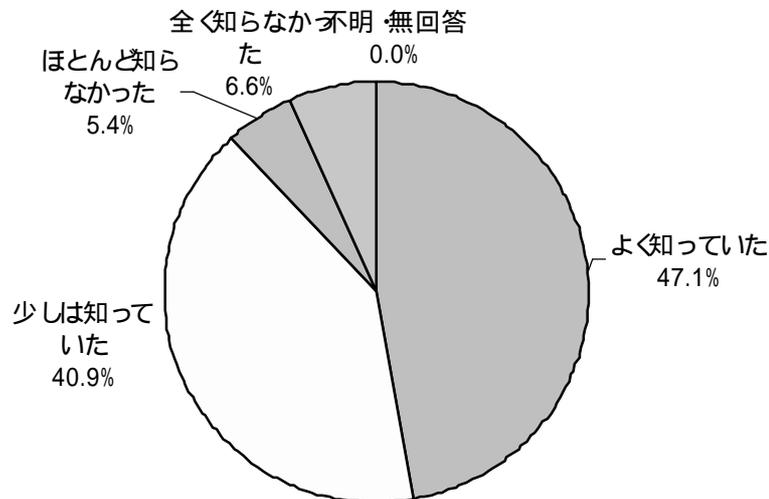
	16日 (火)	17日 (水)	18日 (木)	19日 (金)	23日 (火)	24日 (水)	25日 (木)	合計
回答者数	15	32	41	31	28	85	44	276
来場者数	21	45	66	71	50	163	88	504



(2) アンケート単純集計結果

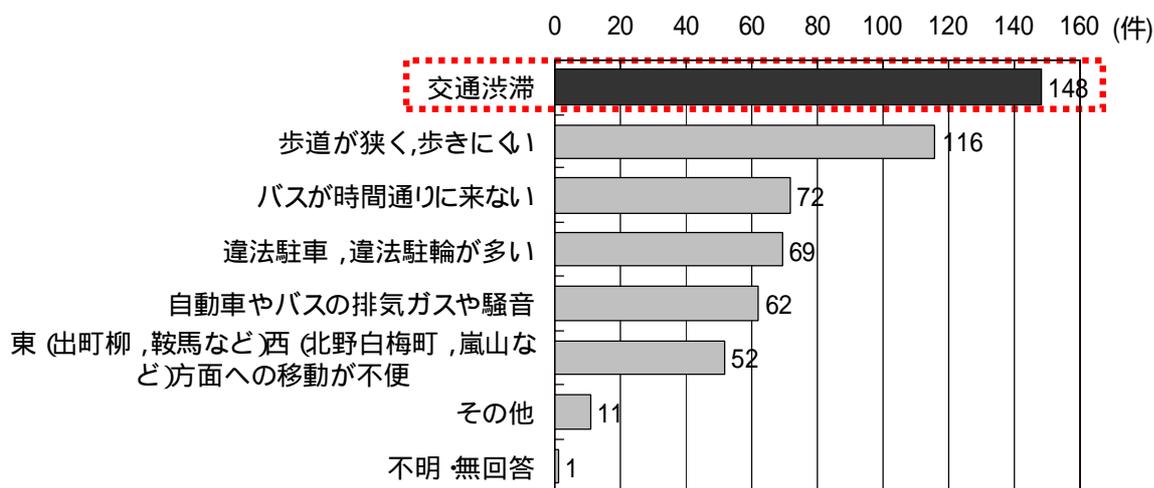
Q1 「ご来場まで、LRTをご存知でしたか？」について

「よく知っていた」が47.1%と最も多く、次いで「少しは知っていた」が40.9%となっている。



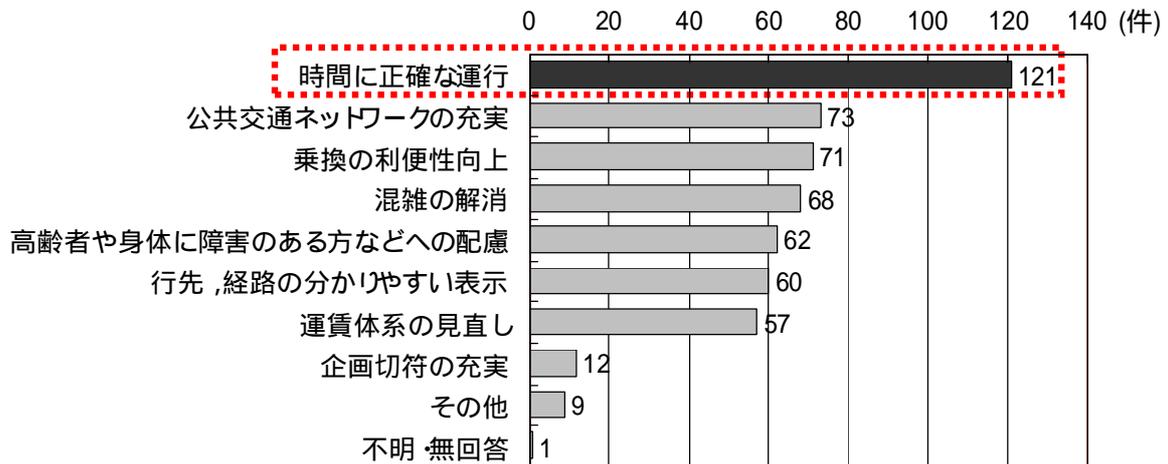
Q2 「今出川通における現状で、気になる点は何ですか。(2つ選択)」について

「交通渋滞」が148件と最も多く、次いで「歩道が狭く、歩きにくい」が116件、「バスが時間通りに来ない」が72件となっている。



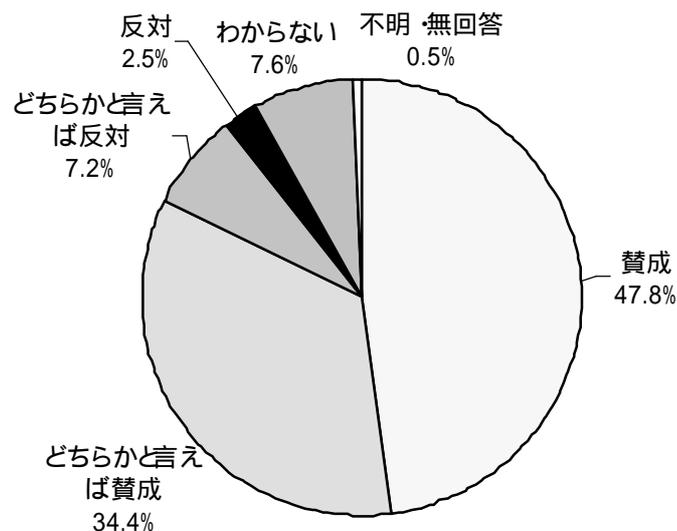
Q3「現在の公共交通機関の魅力を高めるためには、何が必要だと思いますか。（2つ選択）」について

「時間に正確な運行」が121件と最も多く、次いで「公共交通ネットワークの充実」が73件、「乗換の利便性向上」が71件となっている。



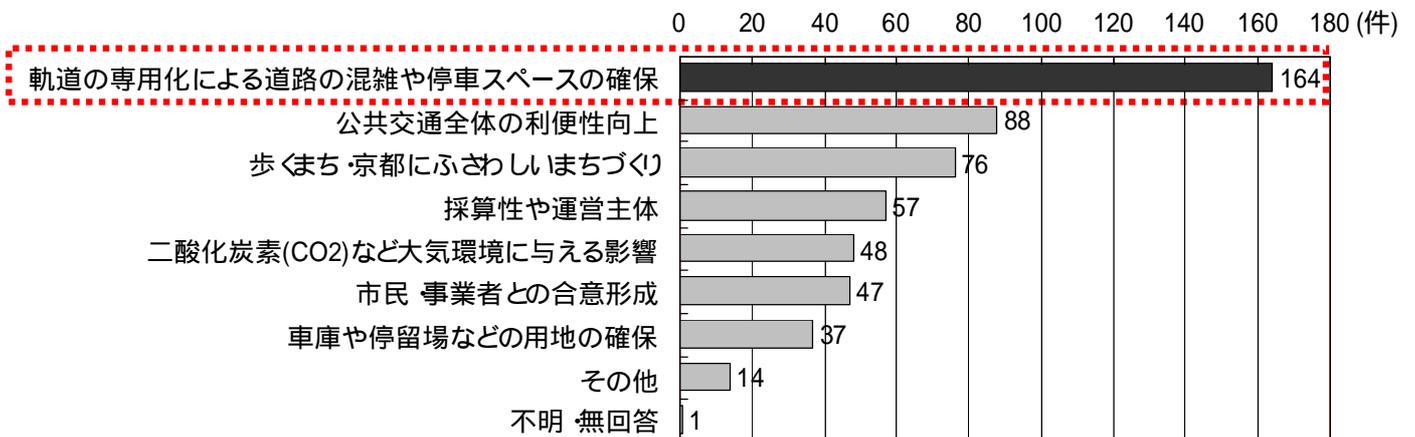
Q4「LRTが今出川通に導入されるとすれば、どう思いますか。（1つ選択）」について

「賛成」が47.8%と最も多く、次いで「どちらかと言えば賛成」が34.4%となっている。「反対」は最も少なく2.5%となっている。



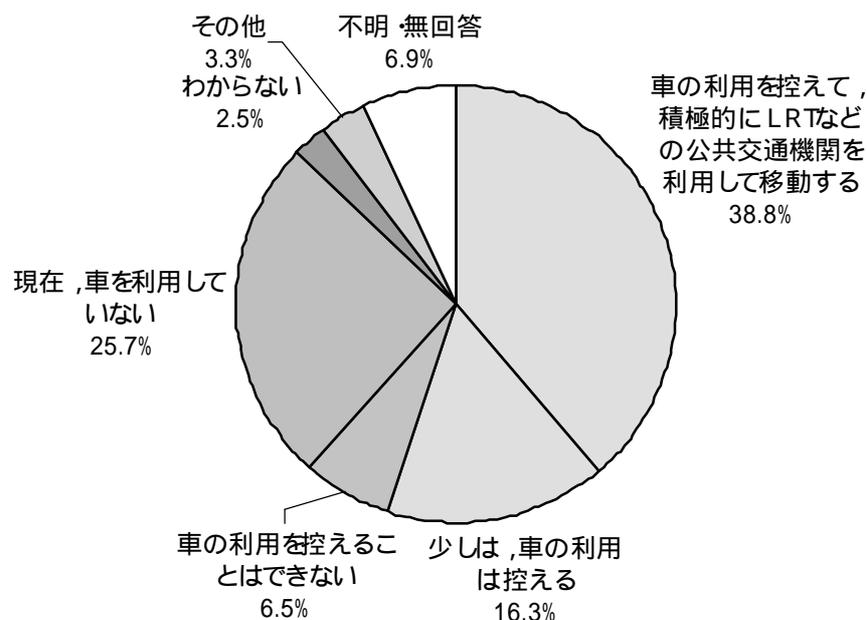
Q5「今出川通において今後LRTを検討する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。」について

「軌道の専用化による道路の混雑や停車スペースの確保」が164件と最も多く、次いで「公共交通全体の利便性向上」が88件、「歩くまち・京都にふさわしいまちづくり」が76件となっている。



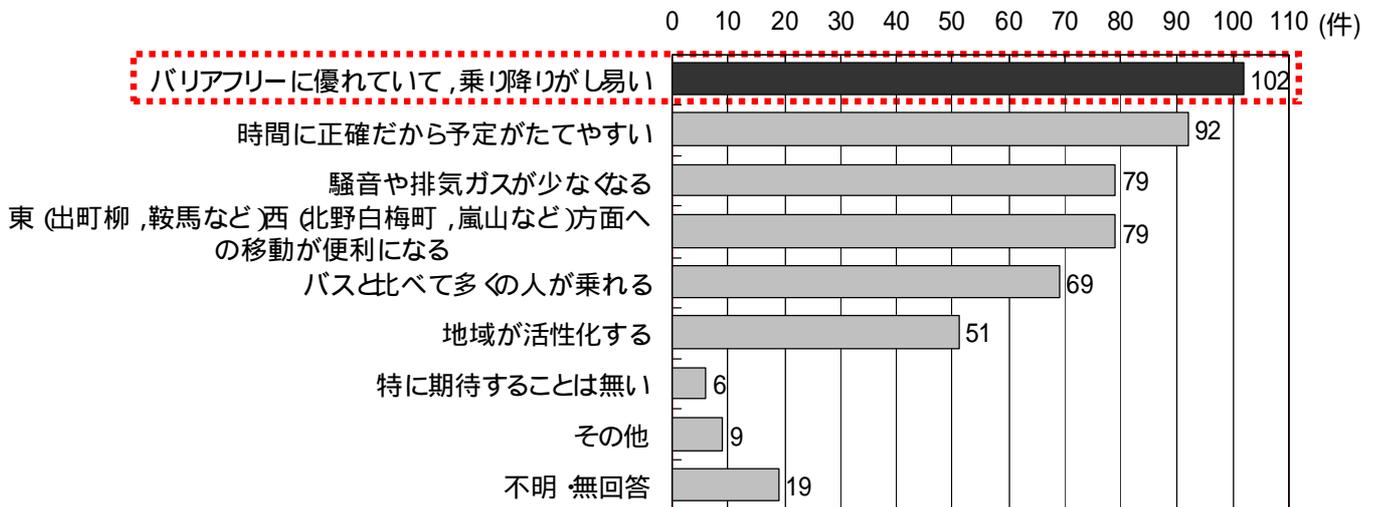
Q6「今出川通にLRTが導入されるとすれば、あなたは、車の利用を控えることができますか。」について

「車の利用を控えて、積極的にLRTなどの公共交通機関を利用して移動する」が38.8%と最も多く、次いで「現在、車を利用していない」が25.7%、「少しは、車の利用は控える」が16.3%となっている。



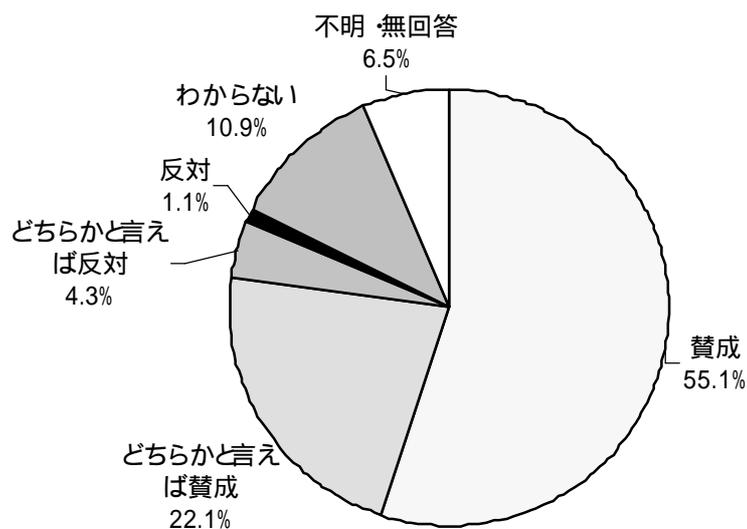
Q7「LRTが今出川通に導入されるとすれば、期待することは何ですか。(2つ選択)」について

「バリアフリーに優れていて、乗り降りがし易い」が102件と最も多く、次いで「時間に正確だから予定がたてやすい」が92件となっている。



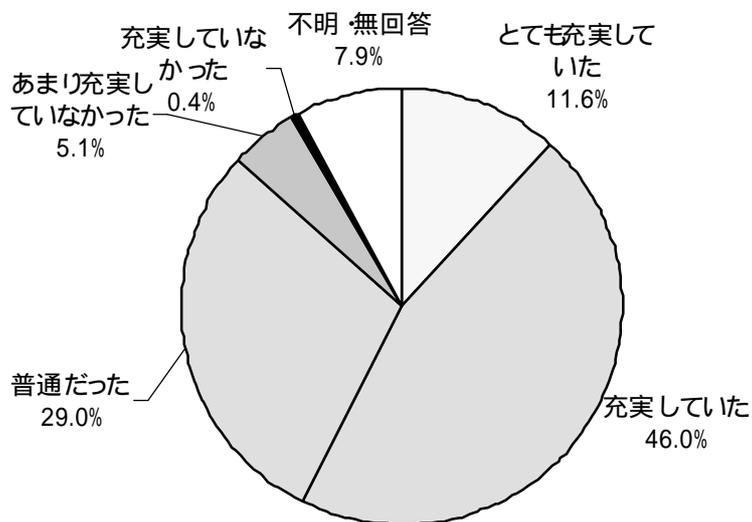
Q8「今出川以外でLRTが導入されるとすれば、どう思いますか。(1つ選択)」について

「賛成」が55.1%と最も多く、次いで「どちらかと言えば賛成」が22.1%となっている。逆に、「反対」は最も少なく1.1%となっている。



Q9 「今回の展示ブースをご覧になっての感想をお聞かせください。」について

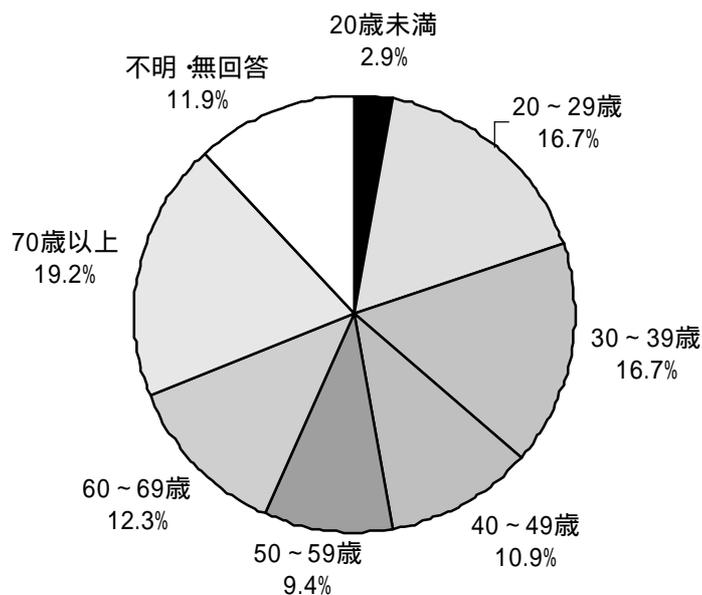
「とても充実していた」の 11.6%と、「充実していた」の 46.0%をあわせると 57.6%を占め、次いで「普通だった」が 29.0%となっている。



(3) 展示ブースアンケート回答者属性

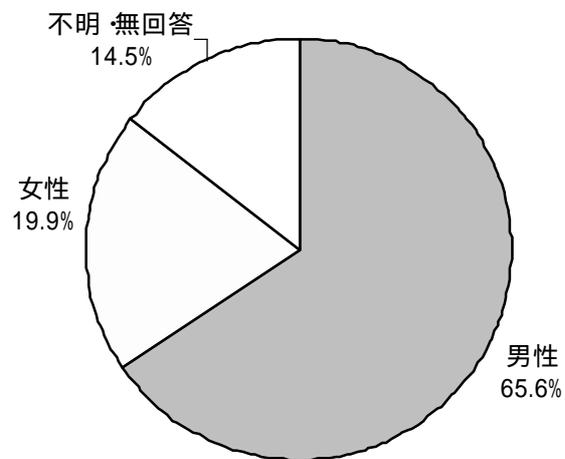
年齢

「70歳以上」が 19.2%と最も多く、次いで「20～29歳」と「30～39歳」が 16.7%となっている。



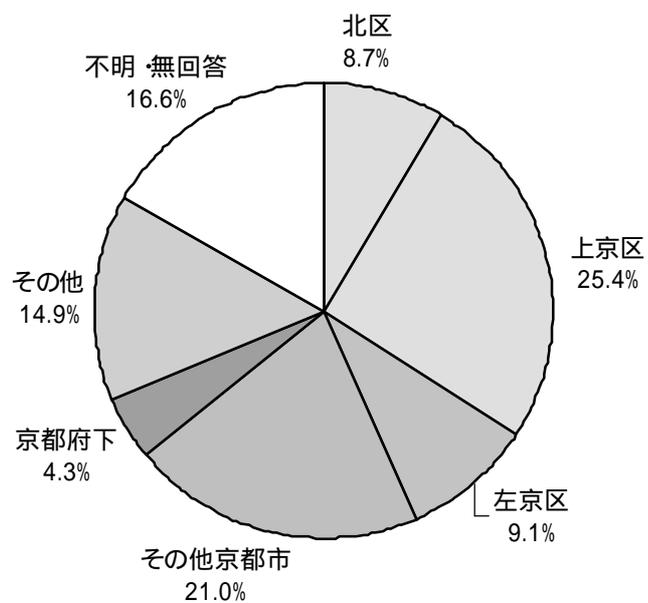
## 性別

「男性」が65.6%、「女性」が19.9%となっている。



## 居住地

「上京区」が25.4%と最も多く、次いで「その他京都市(北区,上京区,左京区以外)」が21.0%となっている。



#### (4) 参加の感想・自由意見

来場者アンケート回答者の48.6%の記入があった。

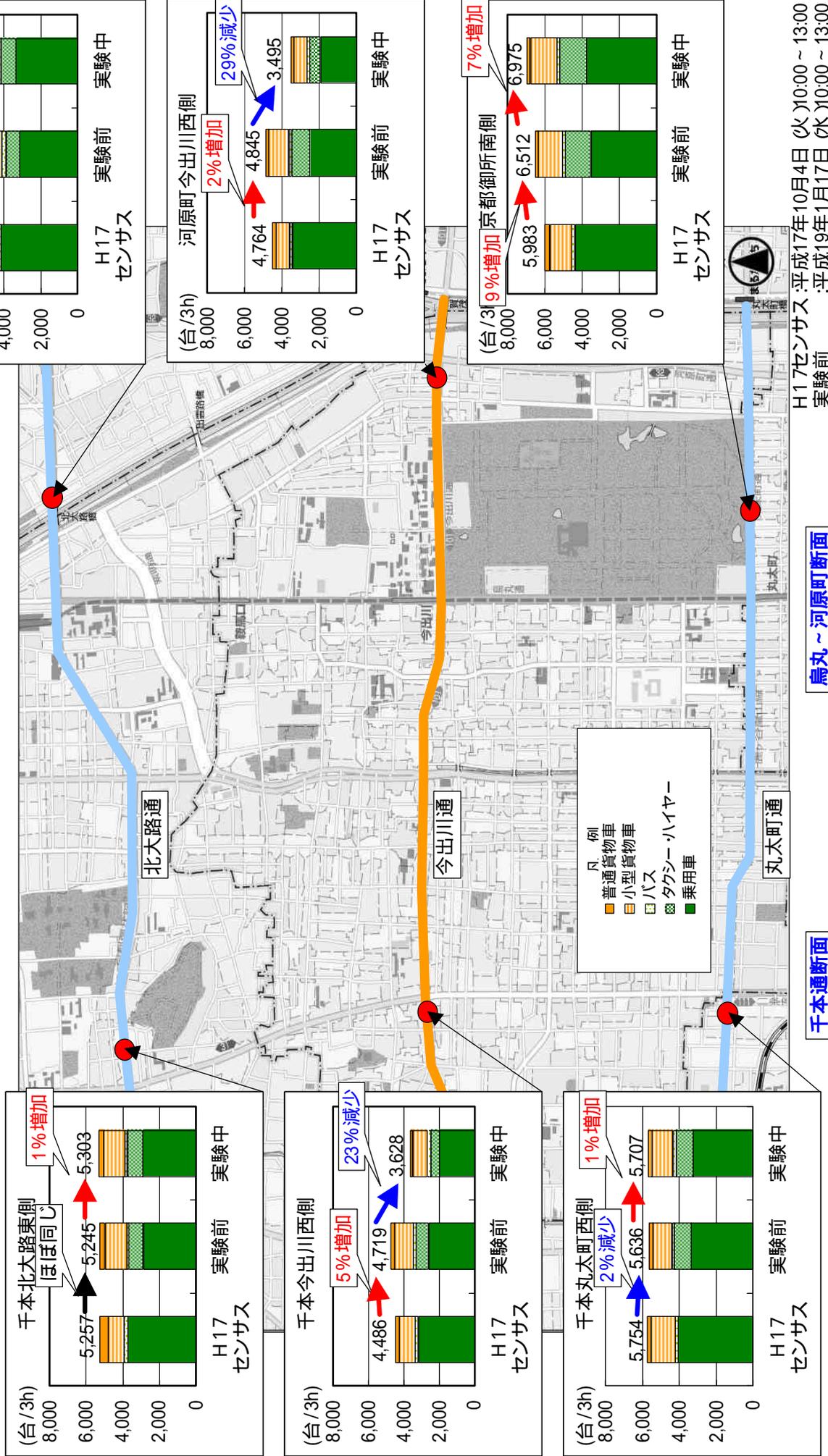
##### 自由意見の一例

- 実現のためのハードルが多くて、高いようで大変だと思われるが、反対が多いから止めるといふ性質のものではない。都市計画100年の観点から実現への努力をお願いします。
- 外国の例を見ると大変良いと思いますが、現在の京都市内、特に今出川通だけを考えると、無理だと思う。他に東大路通は観光シーズンに入るとバスや自動車の混雑はすごい。新しく街をつくるには良いと思うが、色々問題点が多いと思います。
- 環境面や地元との合意、他の交通機関との関係などいろいろと問題はあると思う。これらを利用者と事業者がお互いに理解することが必要だ。

### 参考資料 3 交通量調査結果

路線別断面交通量

参考：平成17年道路交通センサスとの比較

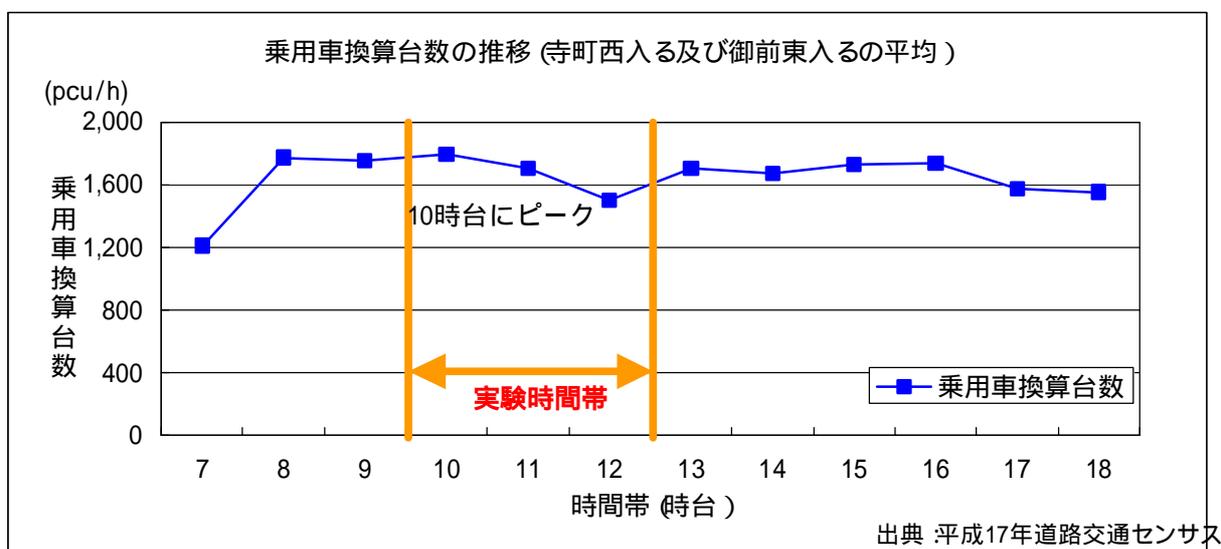
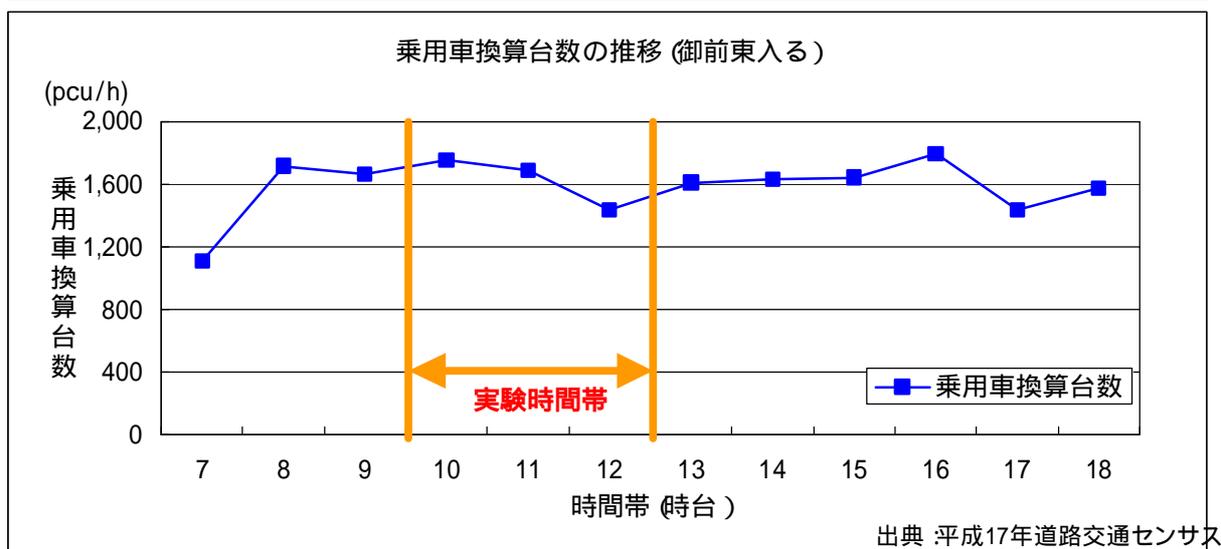
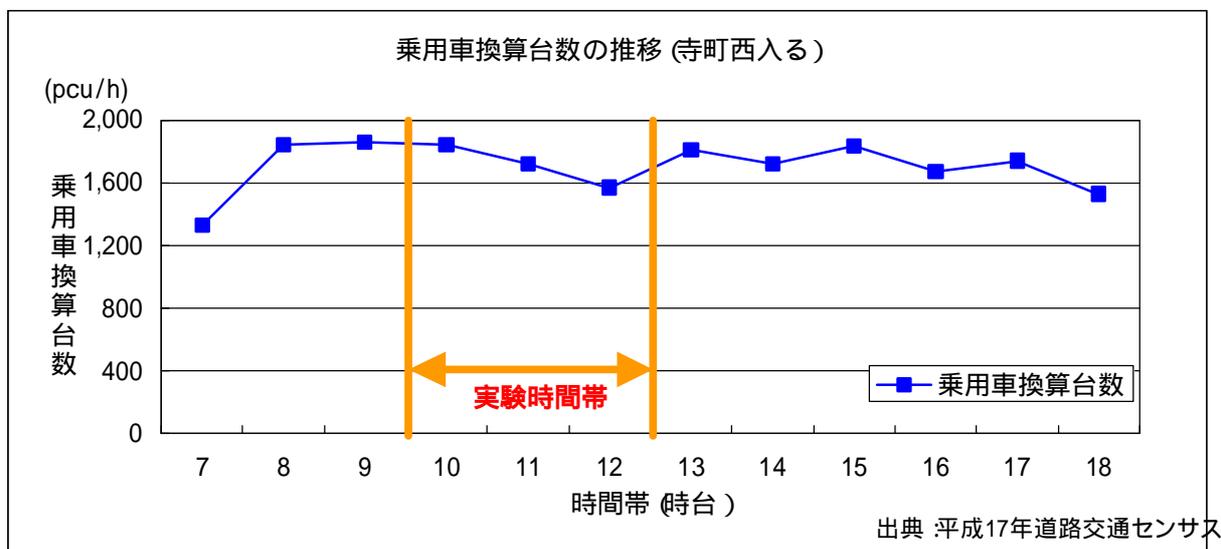


注) H17センサスでは、タクシーは乗用車に含まれる

H17センサス：平成17年10月4日(火) 10:00 ~ 13:00  
 実験前：平成19年1月17日(水) 10:00 ~ 13:00  
 実験中：平成19年1月24日(水) 10:00 ~ 13:00

## 今出川通の断面交通量

交通社会実験の実施時間については、今出川通の交通量のピークが朝10時台であることから、最も混雑している時間帯における自動車交通への影響を見るという観点から、ピーク時を含めた10～13時とした。



pcu/h：1時間当りの乗用車換算台数で、都市部では大型車1台を乗用車2台に換算する。  
ここで、pcuとはpassenger car unitの略である。